

法政大學講義録

三宅, 徳業 / 島村, 他三郎

(出版者 / Publisher)

法政大學

(巻 / Volume)

30

(号 / Number)

特別法

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

71

(発行年 / Year)

1908-06-29



明治四十一年六月二十九日發行

特別法三十(完結)

法政大學講義錄

第百三十一號

法政大學發行

特別法 第三十號目次

郡

制(自二四)(完)

法學士 島村 他三 郎

表紙及七目次 四頁

非訟事件手續法(自二七五)(完)

法學士 三宅 德 業

表紙及七目次 二六頁

稟告

供託法商標法及非訟事件手續中庶部以下ハ編輯上ノ
都合ニ因リ掲載セサルコトニ致候間御諒察相成度候

雜 錄 文官高等及ヒ判檢事試験委員

090
1903
5-30

條以下郡制ノ條項ヲ掲クルトキハ單ニ第條ト記述スヘシ而シテ郡ノ區域ニ關シテハ明治十一年七月太政官布告第十七號郡區町村編制法ニ左ノ規定アリテ郡制モ亦上述スルカ如ク從來ノ區域ニ依ルトアルカ故ニ沿革的地區ヲ變更セサルヲ以テ原則トナスノ精神ハ嚴ニ踏襲セラルルモノナルハ明白ナリ

郡區町村編制法第一條 地方ヲ畫シテ府縣ノ下郡區町村トス

同法第二條 郡町村ノ區域名稱ハ總テ舊ニ依ル

同法第三條 郡ノ區域廣濶ニ過キ施政ニ不便ナルモノハ一郡ヲ畫シテ數

郡トナス(東西南北上中下某郡ト云フカ如シ)

郡ノ廢置分合境界變更ハ法律ヲ以テ定メサルヘカラサルコト地區ノ境界ニ涉リ市町村境界ノ變更アリタルトキ當然其ノ地區ニ變更ヲ生スルコト等ハ府縣ニ於ケルト異ナル所ナシ唯市ヲ町村トナシ又ハ町村ヲ市トナスカ爲メ郡ノ地區ニ變更ヲ生スルハ府縣ニ於テ之ナクシテ郡ニ關シテノミ規定ノ存スヘキハ理論上當然ノ結果ナリ

第二節 住民

郡ニ包括セラルル町村ノ構成分子タル町村ノ住民ハ又同時ニ郡ノ構成要素タル郡ノ住民ナリ町村ト其構成ヲ異ニシ町村團體ヲ以テ郡ノ構成分子トナスニハ非サルナリ彼ノ郡費ヲ直接ニ住民ヨリ徴收セス市町村ニ分賦スルカ如キハ徵税ノ便宜ニ出ルニ止マリ以テ町村團體カ郡ノ構成分子ナリトノ論據トナスニ足ラサルナリ

第三章 郡ノ機關

郡ノ意思ヲ決定スヘキ議決機關ハ郡會及ヒ郡參事會ニシテ其意思ヲ外部ニ表示シ執行スヘキ所謂執行機關ハ郡長ナリ今區別シテ之ヲ説明スヘシ

第一節 議決機關

第一款 郡會

我地方自治體中二箇ノ議決機關ヲ有スルモノト單ニ一箇ノ議決機關ヲ有スルニ止マルモノアリ府縣及ヒ郡ハ前者ニ屬シ市町村ハ後者ニ屬ス郡ニ於ケル二箇ノ議決機關中先ツ郡會ニ付テ其組織及ヒ職務權限ヲ本款ニ於テ説述スヘシ

第一項 郡會ノ組織

(一) 議員ノ定數 郡會ノ構成員數ハ十五人以上三十人以下トス其最低限度ハ之ヲ動カスコトヲ得スト雖モ區域廣濶ナルカ如キ特別ノ事情アル郡ニ在リテハ特ニ内務大臣ノ許可ヲ得四十人以下ノ議員ヲ置クコトヲ得ルモノトス之ヲ府縣會議員ノ員數ニ對照スルニ彼ノ最低限度ハ三十人ナルカ故ニ府縣會構成員數ノ最低限度ト郡會構成員數ノ最高限度トハ相匹敵スルモノト云フヘシ
上述スルカ如ク郡會議員ノ數ニ關シテハ郡制中概括的ノ規定存スルノミナルカ故ニ各郡ニ於テ諸種ノ事情ヲ查考シ適當ト認ムル實數ヲ決定スヘキモノニシテ郡會ノ議決ト府縣知事ノ許可ヲ得郡長之ヲ決定スヘキモノトス(第五條)
(二) 選舉區 選舉區ハ議員選舉ノ便宜上設クル一定ノ地區ニシテ現行法上選舉

區ノ設定ニ關シ三箇ノ主義アルヲ見ル左ノ如シ

一、選舉區ヲ設クヘキモノ

二、選舉區ヲ設クルト否トノ自由アルモノ

三、選舉區ヲ設クヘカラサルモノ

衆議院議員、府縣會議員及ヒ郡會議員ノ選舉ハ第一ノ主義ニ依リ市會議員ノ選舉ハ第二ノ主義ニ依リ町村會議員ノ選舉ハ第三ノ主義ニ依レリ
郡會議員ノ選舉區ハ町村ノ區域ニ依ルヲ以テ原則トスト雖モ町村區域ノ廣狹一定セサル等ノ事情アルカ故ニ郡會ノ議決ト府縣知事ノ許可ヲ要件トシ例外トシテ數町村ノ區域ヲ以テ一選舉區トナスコトヲ得ヘカラシム
町村組合ハ一部町村組合關係町村ニ共通ナル事務ノ一部ヲ共同處理スルモノナルト全部町村組合關係町村ノ事務全部ヲ共同處理スルモノナルトヲ問ハス法律上直チニ之ヲ一箇ノ町村ト認ムルヲ得スト雖モ其全部町村組合ノ如キニ至リテハ事實上之ヲ一箇町村ト認ムルニ於テ支障ナシ故ニ郡會議員ノ選舉ニ關シテモ全部町村組合ニ付テハ之ヲ以テ一選舉區トナシ其包含スル各町村毎

ニ選舉區ヲ設ケシメサルノ制ヲ採レリ(第四條第三項)

各選舉區ニ配當スヘキ議員數ハ議員定數ノ決定ト同シク郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ムルモノナルカ故ニ妥當ヲ欠クノ錯誤ナカルヘシト雖モ豫メ議員配當ニ關スル必要ナル標準ヲ定ムルヲ以テ穩當ナリトスヘキカ故ニ内務大臣ニ於テ豫メ定メタル標準左ノ如シ明治三十二年内務省令第十八號)

一、人口ノ多寡ニ依リ配當員數ヲ定ムヘキコト

二、人口ハ内閣統計局ニ於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ニ依ルコト

三、前號ニ依ル報告ニ掲グル人口調査期日後町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタルトキハ其處分以後ノ調査ニ屬スル人口ノ報告ナキ間ハ處分當時ノ調査ニ依リ府縣知事ノ告示スル人口ニ依準スヘキコト

四、特殊ノ事情アル郡ニアリテハ人口標準以外ノ條件ヲ加味シ決定スルヲ妨ケサルコト

五、配當ノ更正ハ改選ノ際ニアラサレハ之ヲ爲スヘカラス但選舉區ノ増減アリタルトキハ改選ノ際ヲ俟タスシテ更正シ得ルコト

(三)選舉資格 郡會議員ノ選舉權ニ關スル資格要件ハ府縣會議員ノ選舉資格ト異ナルコトナシ即チ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其郡内ニ於テ一箇年以來引續キ直接國稅年額三圓以上ヲ納ムルモノハ郡會議員ノ選舉權ヲ具有スルモノトス一箇年以來ノ起算點ハ納稅義務ヲ生セシ時ナリヤ現ニ納稅ヲ始メシ時ナリヤ又ハ納稅ニ關スル法規上ノ期日ヲ云フモノナリヤ例令營業稅ニ付テ云フトキハ新ニ營業ヲ開始シタル場合ニ於テハ開業ノ翌年ヨリ營業稅ヲ徵收ス而シテ營業稅ハ年額ヲ二分シ五月十一月ヲ納期トナスカ故ニ納稅義務發生ノ時ヨリ起算スヘキモノトセハ一ヶ年ハ營業ヲ開始セシ翌年ノ一月一日ヨリ起算セサルヘカラス又納入ニ關スル法規上ノ期日ヨリ起算スヘキモノトセハ營業ヲ開始セシ翌年ノ五月一日ヨリ起算セサルヘカラス又現ニ納稅シタル時ヨリ起算スヘキモノトセハ五月某日ニ於テ納入シタル時ヨリ起算セサルヘカラサルノ差異ヲ生ス思フニ郡會議員選舉資格ノ一要件トシテ納稅

ノ一定額ヲ必要トナス立法ノ精神ハ恒産ナキ結果恒心ナキ人民ヲシテ郡ノ議決機關ニ參與セシメサルニアリ故ニ納稅ニ關シテモ必ス現實ニ納稅シタル時ヨリ起算スヘキモノナリト信ス

一年以來連續シテ納稅セシコトヲ要件トスルモ同種ノ稅目ノミニ依リ連續納稅セシコトヲ要件トナスニアラス故ニ地租及ヒ營業稅ヲ合シ又ハ地租及ヒ所得稅ヲ合シ納稅期間一年以上ナルモ亦可ナリ三圓以上ノ納額ニ付テモ亦之ト同シク同種ノ稅目ニ限定セララルニアラサルナリ

其他被相續人ノ納稅額ヲ以テ相續人ノ納稅額ト認ムルコト府縣郡市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ニ依リ納稅期間ヲ中斷セラレサルヘキコト等ハ府縣制ノ規定ト其授ヲ一ニスルカ故ニ特ニ詳説スルノ必要ヲ認メヌ郡制第六條第一項、第三項及ヒ第五項)

(四)被選舉資格 郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ其郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムルモノハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス(郡制第六條)府縣會議員ノ被選舉資格ハ納稅額十圓以上ナルカ故ニ唯此納稅額

ノ制度ノミニ付キ差等アルモノトス其他相續アリタル場合ニ關スル規定他町
村ニ住所ヲ移轉シタル場合ニ關スル規定府縣郡市町村ノ廢置分合境界變更カ
資格要件中ノ年限ヲ中斷セザル事等ハ凡テ選舉資格ニ關シ述ヘタルト同一ニ
シテ亦府縣制ノ規定ト異ナル所ナシ

議員タルコトヲ得サル者ニ關スル規定モ亦大體ニ於テ府縣ト同一ナルモ(一)郡
ノ所屬官吏及ヒ有給吏員カ其郡ノ郡會議員タルコトヲ得サルト(二)衆議院議員
ハ府縣會議員ヲ兼スルヲ得サルモ郡會議員ハ之ヲ兼スルコトヲ得ルノ二點ヲ
異ナレリトス(郡制第六條)

(五)選舉手續 郡會構成ニ關スル選舉手續カ府縣會ノ夫レト異ナル要點次ノ如
シ
(イ)府縣會議員ノ選舉告示ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘキ定
ナルモ郡會議員ノ選舉告示ハ選舉人名簿ヲ調製シテ選舉ヲ行フ場合ハ少クト
モ七十日前ニ其他ノ場合ニ於テハ少クトモ選舉期日十四日前ニ之ヲ發スヘキ
モノトス(郡制第九條府縣制第十三條)

(ロ)府縣會議員ノ選舉人名簿ハ郡市役所ニ於テ十月二十日ヨリ十五日間利害關
係者ノ縦覽ニ供セサルヘカラサルモ郡會議員ノ選舉人名簿ハ町村役場又ハ縱
覽上ノ效果ヲ收メ得ヘキ其他ノ場所ニ於テ選舉期日五十日前ヨリ七日間關係
者ノ縦覽ニ供スヘキモノトス(郡制第十一條第三項府縣制第十二條第一項)

(ハ)郡會議員ノ選舉ニ付テハ選舉會ノ外別ニ投票所ナルモノヲ設クルコトナシ
府縣ニ比シ此ノ如ク煩雜ナル手數ヲ費スノ必要ナシト認ムルニ因ル、

(ニ)選舉立會人ハ二名乃至四名ナリ(府縣ニ在リテハ二名乃至六名)
(ホ)府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用スルモ郡
會議員ノ選舉ニ關シテハ市町村會議員ノ選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス明治二十
三年法律第三十九號)

第二項 郡會ノ職權

郡會ノ職務權限トシテ郡制ニ規定スル所ハ(一)歳入出豫算ノ決定(二)決算報告ニ
關スル事項(三)使用料手數料府縣稅及ヒ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事項(四)不

動産ノ處分及ヒ所得ニ關スル事項(五)積立金額ノ設置及ヒ處分ニ關スル事項(六)歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノ以外ニ於ケル義務ノ負擔及ヒ權利ノ拋棄七財産營造物ノ管理方法(八)意見書ヲ提出スルコト(九)官廳ノ諮問ニ答申スル事(十)法定ノ選舉ヲ行フ事等ニシテ殆ト府縣ノ文字ニ代フルニ郡ヲ以テシタルノ外府縣制ノ規定ト異ナル所ナキカ故ニ特ニ説明スヘキモノナシ唯郡會ノ庶務規程トモ見ルヘキ事項中(一)府縣會通常會ノ會期ハ三十日以内ナルモ郡會通常會ノ會期ハ十四日以内ニシテ府縣會臨時會ノ開期ハ七日以内ナルモ郡會臨時會ノ會期ハ五日以内ナルト(二)府縣會ノ召集ハ開會期日前少クトモ十四日前ニ告示スルヲ以テ原則トナスニ拘ハラズ郡會ノ召集ハ開會十日前ニ告示スヘキヲ原則トスルヲ差異アル點ト認ムヘキノミ(郡制第二十九條乃至第五十二條府縣制第四十一條乃至第六十四條)

第二款 郡參事會

郡參事會ハ合議制ノ議決機關ナルコト府縣參事會ト同シク市參事會ノ如キ執

行機關ニハアラスシテ其職權ノ範圍モ亦府縣參事會ト異ナルコトナシ郡長及ヒ郡會ニ於テ郡會議員中ヨリ選舉スル名譽職參事會員五人ヲ以テ之ヲ組織ス而シテ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ置ク事補充員ヲ以テ補欠ヲ爲ス順序方法名譽職參事會員ノ改選議長ニ關スル規定モ亦府縣制ノ規定ト其授ヲ一ニス郡制第五十三條乃至第六十二條府縣制第六十五條乃至第七十四條)

第二節 執行機關

(一)其組織 郡ノ執行機關ハ郡長ニシテ府縣ノ執行機關ハ同シク一面ニ於テ國家ノ官廳タルト同時ニ地方自治體ノ執行機關タルモノナリ郡長ハ其補助機關トシテ官吏及ヒ吏員ヲ有ス有給郡吏員ハ知事ノ任免スル所ニシテ郡長之ヲ任免スルヲ得ス此點ハ府縣知事カ府縣ノ有給吏員ヲ任免シ得ルト異ナレリ(郡制第六十三條府縣制第七十五條)

郡出納吏ヲ官吏吏員中ヨリ選任任命スヘキコト臨時又ハ常設委員ノ設置其組織選任等ハ全然府縣ニ於ケルト異ナル所ナシ

(二)其權限 郡長カ擔任スル事務ノ概目郡長ト補助機關トノ職權委任ノ關係等モ亦大體ニ於ケル府縣ト異ナルコトナシ唯其異ナレル二三ノ點ヲ舉タレハ(一)府縣知事ハ府縣吏員ニ對シ總責二十五圓以下ノ退職金及ヒ解職ノ懲戒處分ヲ行フコトヲ得ルモ郡長ハ郡吏員ニ對シ此ノ如キ懲戒權ヲ有セサルト(二)府縣會又ハ府縣參事會ノ決議公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ再議ニ付シ仍ホ其議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得此ノ如キ場合ニ於テ其再議處分ニ對シ不服アル者ハ何等救濟ヲ求ムルノ途ナシト雖モ郡ニアリテハ之ト異ナリ郡長カ郡會又ハ郡參事會ニ對シ此ノ如キ處分ヲ行ヒタル場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服アル場合ハ郡會又ハ郡參事會ヨリ內務大臣ニ訴願シ得ルノ途ヲ開キタルノ二點即チ是ナリ郡制第六十九條第七十條府縣制第八十二條第八十三條

第四章 郡ノ財政

郡ノ財政ニ關スル郡制ノ規定モ亦殆ト府縣制ト其規定ヲ同ウスルカ故ニ唯其

主要ナル相異ノ點ノミニ付キ説明スヘシ
 (一)郡ハ府縣ト異ナリ直接ニ其領域内ノ住民ニ對シ租稅ヲ賦課徵收スルヲ得ス
 府縣ハ市町村モ亦同シ其ノ所有財產ヨリ生スル收入個人ノ利益ノ爲メニスル特別ノ行政行爲ニ關シ徵收スル手数料及ヒ營造物ノ使用料等ノ外尙ホ其區域内ノ住民ニ對シ直接ニ府縣稅ヲ賦課シ以テ法人ノ財政ヲ維持スルノ權能ヲ有スルモ郡ハ之ニ異ナリ財產收入手数料使用料等ノ收入以外所用ノ經費ハ之ヲ郡内ノ町村ニ分賦シ間接ニ住民ヨリ租稅ヲ徵收シ得ルニ過キス郡制第八十九條第二項府縣モ亦勅令ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ市町村ニ分賦スルヲ得サルニアラスト雖モ是レ固ヨリ例外ニ屬シ原則ニ於テ二者全然其規定ヲ異ニスルモノナリ府縣制第百三條第二項隨テ郡制ニハ府縣制第百四條乃至第百六條ニ相當スル規定ヲ見ス思フニ郡ノ租稅ヲ分賦主義ニ依リ徵收セシムル所以ハ府縣ニ比シテハ國ノ行政費ヲ負擔スルコト少ク市町村ニ比シテハ自治ノ範圍狹クナルカ故ニ結局煩冗ナル手数料費スノ弊ヲ避クルノ趣旨ニ出ルモノナラン而シテ郡費分賦ノ割合ハ前前年度ノ決算ニ依リ各町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收

額ニ比例スヘキモノニシテ此標準ハ府縣カ例外ノ場合ニ於テ府縣内ノ市町村ニ分賦スル場合ニ於ケル標準ト異ナルコトナシ郡制第九十條明治三十二年勅令第三一六號第一條第三項特別ノ事情ニ依リ此ノ如ク分賦方法ニ依リ難キトキハ議決機關ノ同意ヲ得内務大臣ノ許可ヲ俟テ他ノ方法ニ依リ得ルコトモ亦府縣ト異ナルコトナシ

唯一言附加セサルヘカラサルモノアリ若シ如上ノ方法ニ依リ前前年度ノ決算額ニ依準シ分賦ノ割合ヲ定ムルニ當リ當該年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額前前年度ニ比シ四分ノ一以上ヲ増減スヘキ事故ヲ生シタル町村アルトキハ其増減額ヲ加除シタル額ヲ以テ其割合ヲ定ムヘキ制限アルコト是ナリ(明治三十五年法律第四十號)

(二)郡ハ郡内ノ住民及ヒ町村以外ノ公共團體ニ對シ夫役現品ヲ賦課スルヲ得ス
府縣ハ府縣内一部ノ市町村ハ勿論其他ノ公共團體例令水利組合及ヒ一部ノ住民ニ對シ夫役現品ヲ賦課スルコトヲ得ト雖モ(府縣制第一百十二條郡ハ單ニ郡内ノ町村ニ限り賦課シ得ルニ過キス是レ亦府縣ト異ナル主要ノ點ナリ)郡制第九

十二條

以上ノ外收入ヲ定期内ニ納入セサル場合ノ處分起債シ得ヘキ場合歳入出豫算決算ニ關スル事項ハ全然府縣ト同一ナルカ故ニ今之ヲ省略ス(郡制第九十四條乃至第百四條明治三十三年内務省令第七號)

第五章 郡組合

郡制ハ郡組合ノ制ヲ認ム是レ特定ノ事項ニ付キ數郡共通ノ關係アル場合ニ於テ特ニ別箇ノ法人ヲシテ之ヲ處理セシムルノ實際ニ適切ニシテ自治ノ效果ヲ收ムルヲ得ルニ因ル

府縣及ヒ市ニ付テハ現行法制上組合ヲ認メスト雖モ町村ニ付テハ町村組合ノ制アリ今郡組合ノ性質ヲ明瞭ナラシムルタメ之ヲ比較スヘシ

(一)町村組合ニハ任意町村組合數町村ノ協議ニ依リ共同事務處辨ノ爲メ監督官廳ノ許可ヲ得テ設置スルモノ及ヒ強制町村組合數町村ノ協議ニ依ルニアラス法律上ノ義務ヲ負擔シ得ヘキ資力ナキ町村カ他ノ有力ナル町村ト合併スルノ

協議調ハサルカ爲メカ又ハ協議成立スルノ見込アルモ合併ヲ非常ニ不便ナリトスル場合ニ於テ郡長カ郡參事會ノ議決ヲ經強制的ニ設立セシムルモノノ二種アリト雖モ郡組合ハ之ト異ナリ任意ニ設立スルヲ得ス是レ町村組合ト異ナル第一點ナリ(郡制第百五條町村制第十六條)

(二)町村組合ニハ學者ノ所謂全部町村組合(組合内各町村行政事務ノ全部ヲ處理スルモノ)及ヒ一部町村組合(組合内各町村行政事務ノ一部ヲ處理スルモノ)ノ二種アリト雖モ郡組合ハ組合内各郡ニ共通スヘキ特定事務ヲ處理シ得ルニ止マリ各郡行政事務ノ全部ヲ處理スル郡組合ハ之ヲ設立スルヲ得サルモノトス是レ町村組合ト異ナル第二點ナリ

(三)町村組合ハ監督官廳ノ許可ヲ必要トスル外組合自體ニ於テ其解散ヲ議決スルヲ得レトモ郡組合ハ設置ノ際ト同一ノ手續ニ依リ郡參事會ノ議決ト内務大臣ノ許可ヲ得ルヲ必要トシ郡組合自體ニ於テ解散ヲ議決スルヲ許サス是レ第三ノ異點ナリ

(四)任意町村組合ニ在リテハ組合會議ノ組織事務ノ管理方法並ニ費用ノ支辨方

法ノ如キモ關係町村ノ協議ニ依リ之ヲ決定シ得ルモ郡組合ハ強制設立ナルカ故ニ關係アル郡ノ協議ニ依リ之ヲ定ムルヲ得スシテ必ス關係郡參事會ニ付議シ内務大臣ノ許可ヲ受ケ府縣知事之ヲ決定スヘキモノトス是レ第四ノ異點ナリ(郡制第百六條町村制第十七條)府縣知事カ特定ノ事務例令水利土木ニ關スル事務ヲ各郡箇別的ニ處理セシムルヨリモ特別ノ法人ヲ組織シ共同處辨セシムルヲ以テ行政上適當ナリト認ムルトキハ關係郡參事會ノ意見ヲ聞キ之ヲ府縣參事會ニ付議シ内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設立スヘキモノニシテ郡組合ノ議決機關タル郡組合ノ組織例令特別ノ議決機關ヲ設クヘキヤ否ヤ各郡會ヲ合シテ郡組合會トナスヘキヤ否ヤ互選ノ委員ヲ以テ議決機關ヲ設クヘキヤ否ヤ共同事務ノ管理方法執行機關ノ選任及ヒ郡組合ノ費用支辨ノ方法等モ亦關係郡參事會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ニ付議シ知事之ヲ決定セサルヘカラス(郡制第百五條及ヒ第百六條)

郡組合ハ郡以外別箇ノ法人ナリト雖モ郡組合會ノ會期議決方法等ハ勿論豫算決算ニ關スル事項ノ如キ特別ノ規定ヲナササルモ郡ニ關スル規定ヲ專用シテ

充分ナルカ故ニ特別ノ規定ナシ(郡制第一百七條)

第六章 郡行政ノ監督

郡ハ府縣ノ下級地方團體ナルカ故ニ府縣ニ比シ監督ノ系統ヲ異ニスルハ勿論ニシテ第一次ニハ府縣知事ノ監督ヲ受ケ第二次ニ於テ内務大臣ノ監督ヲ受ケ郡行政ノ監督ノ程度及ヒ監督ノ方法順序ハ大體ニ於テ府縣ト異ナルコトナシ今其差異ノ主要ナルモノニ付キ説明スヘシ

(一)府縣行政ニ關スル内務大臣ノ處分ニ付テハ概括的ニ訴願ノ途ヲ開カサルモ郡行政ニ關スル府縣知事ノ處分ニ對シテハ概括的ニ訴願ノ途ヲ開キタリ郡制第九條

(二)府縣會郡會共ニ之ヲ解散シ得ヘキ職權ハ内務大臣ニアリト雖モ郡會ノ解散ニ付テハ府縣會ノ解散ニ比シ事態重大ナラサルカ故ニ勅裁ヲ必要トセス(郡制第一百十二條第一項府縣制第三百十一條第一項)

(三)左記ニ該當スル事項ハ府縣ニアリテハ内務大臣ノ許可ヲ必要トスルモ郡ニ

在リテハ府縣知事ノ許可ヲ得ルヲ以テ足ル(郡制第一百十六條府縣制第三百十二條)

一、寄附又ハ補助ヲ爲ス事

二、不動産ノ處分ニ關スル事

三、急迫ノ場合ニアラスシテ夫役及ヒ現品ヲ賦課スル事

四、繼續費ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事

五、特別會計ヲ設クル事

(四)積立金額ノ設置及ヒ處分ニ付テハ府縣ト異ナリ監督官廳タル府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス(郡制第一百十六條第一項第一號)

(五)左ノ事項ハ府縣ニ在リテハ主務大臣ノ許可ヲ要セス專決處分シ得ルモ郡ニ在リテハ府縣知事ノ許可ヲ受ケサルヘカラス(明治三十二年勅令第三百十五號)

一、從來徴收シタルモノト同種類ノ使用料、手数料及ヒ其細則ニ關スル件

二、元本總額千圓未満ノ起債

(六)府縣ノ執行機關タル府縣知事ハ府縣吏員ニ對シ自ラ懲戒處分ヲ行フノ職權

ヲ有スルモ郡ノ執行機關タル郡長ハ自ラ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
(郡制第十九條第一項)

一 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 五 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 六 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 七 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 八 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 九 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十一 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十二 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十三 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十四 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十五 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十六 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十七 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十八 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 十九 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十一 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十二 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十三 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十四 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十五 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十六 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十七 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十八 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 二十九 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十一 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十二 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十三 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十四 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十五 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十六 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十七 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十八 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 三十九 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十一 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十二 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十三 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十四 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十五 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十六 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十七 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十八 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 四十九 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス
 五十 郡長ハ郡民ニ對シ懲戒處分ヲ行フヲ得ス

郡制終

法學士 島村他三郎講述

郡

制

法政大學發行

郡制目次

第一章 郡ノ性質	一
第二章 郡ノ構成要素	四
第一節 土地	四
第二節 住民	六
第三章 郡ノ機關	六
第一節 議決機關	六
第一款 郡會	六
第一項 郡會ノ組織	七
第二項 郡會ノ職權	七
第二款 郡參事會	一四
第二節 執行機關	一五
第四章 郡ノ財政	一六

第五章 郡組合

第六章 郡行政ノ監督

第一節 郡役事務

第二節 郡會ノ組織

第三節 郡會ノ職務

第四節 郡會

第五節 郡民團體

第六節 郡民團體

第七節 郡民團體

第八節 郡民團體

第九節 郡民團體

第十節 郡民團體

郡制目次終

不確定ナル權利ノ價格ヲ評價セシムルコトヲ云フナリ
此鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ニ付キテモ本法ハ申立ヲ要スルモノナリヤ否ヤ
又若シ申立ヲ要スルモノトセハ何人カ之ヲ爲シ得ヘキヤニ付キ何等規定スル
所ナシ是レ畢竟此問題ハ民法上解決スヘキモノナルカ爲メナリ而シテ民法第
千百三十二條等ニ依ルモ此點ニ關スル明文ナシト雖モ其注意ハ申立ヲ必要ト
シ又其申立ハ遺留分權利者ヨリ之ヲ爲シ得ルモノトスルニ在ルヤ多辯ヲ要セ
スシテ明カナルヘシ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第八五
條)

此立法上ノ理由ハ相續ノ限定承認者又ハ相續人アルコト分明ナラサル相續
財産ノ管理人カ條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ノ辨濟ヲ爲ス場
ニ於ケル債權ノ價格ノ鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ニ關シ余カ第六款第二項

非訟事件手續法 各論 民事非訟事件 保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

ニ述ヘタル所ニ同シ

第三項 事件ノ手續

本事件ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 檢事ハ事件ニ干與スルコトヲ得ス(本法第八八條)

此立法上ノ理由ハ共有物分割ノ場合ニ於ケル證書保存者ノ指定ニ關シ
余カ第一款第三項ニ述ヘタル所ニ同シ

(二) 鑑定人ヲ選任シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス(本法第八九條)

此立法上ノ理由モ共有物分割ノ場合ニ於ケル證書保存者ノ指定ニ關シ
余カ第一款第三項ニ述ヘタル所ニ同シ

第四項 手續ノ費用ノ負擔者

本事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ關シテハ本法第二編第四章ニ特殊ノ規定ナキ

ニ因リ本法第二十六條ノ適用ニ依リ鑑定人ノ選任ノ手續ノ費用ハ申立人ノ負擔タルヘキコト勿論ナリ然ラハ鑑定人ノ呼出及ヒ訊問ノ費用ニ至リテハ何人ノ負擔スヘキモノナルカ本法ニハ此點ニ關シ何等ノ明文ナシト雖モ選任ノ手續ノ費用ニシテ既ニ申立人ノ負擔タルヘキモノナラハ呼出及ヒ訊問ノ費用モ亦申立人ノ負擔タルヘキモノト解セサルヲ得ス何トナレハ此兩者ノ間ニ區別ヲ設クヘキ何等ノ理由存セザレハナリ

民法第三十三條第二項第三十四條第四十七條及ヒ第五十條ノ鑑定人ノ選任ニ關スル費用ハ既ニ述ヘタルカ如ク相續財産ノ負擔ト定メアルニ獨リ本件ノ鑑定人ノ選任ノ費用ノミ之ヲ申立人即チ相續人ニ負擔セシムルハ何故ナルカト問フニ蓋シ前ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ハ相續財産ノ負擔セル債務辨濟ノ爲メニスルモノナルニ反シ後ノ場合ニ於ケル鑑定人ノ選任呼出及ヒ訊問ハ遺留分ノ算定ノ爲メニスルモノニシテ畢竟相續人ノ利益ノ爲メニスルモノニ外ナラザレハナリ

第五節 隱居廢家子ノ懲戒家督相續人及ヒ親族會

ニ關スル事件

隱居廢家子ノ懲戒家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件トハ隱居廢家子ノ懲戒家督相續人及ヒ親族會ニ關スル民事非訟事件ノ總稱ニシテ其本法ニ規定セラレルモノニ六種アリ(一)隱居ノ許可(二)廢家ノ許可(三)子又ハ被後見人ノ懲戒ニ關スル事件(四)家督相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定前ニ於ケル戸主權ノ行使ニ關スル事件(五)家督相續人ノ選定ニ關スル許可(六)親族會ニ關スル事件是レナリ

第一款 隱居ノ許可

第一項 事件ノ意義

隱居ノ許可トハ戸主カ(一)滿六十年以上ナルコト(二)完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ相續ノ單純承認ヲ爲スコトノ二條件中一若クハ二ノ欠缺セル場合ニ於

テ疾病本家ノ相續又ハ再興其他已ムコトヲ得タル事由ニ因リテ爾後家政ヲ執ルコト能ハサルニ至リタル爲メ又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入ラント欲スル爲メ隱居ヲ爲サントスルトキ裁判所カ民法第七百五十三條又ハ第七百五十四條第一項ニ依リテ之ヲ許可スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ隱居ヲ爲サントスル戸主ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第九〇條第一項)
是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續左ノ如シ
(一)申請ニハ法定ノ推定家督相續人ヲ表示シ又ハ家督相續人タルヘキコトヲ承認シタル者ヲ表示シ且其者ヲシテ署名捺印セシムルコトヲ要ス(本法

第九〇條第二項

戶主カ民法第七百五十三條又ハ第七百五十四條第一項ノ規定ニ依リテ
隱居ヲ爲スニハ法定ノ推定家督相續人アラサルトキハ豫メ家督相續人
ヲ指定シ其者ヨリ家督相續ヲ爲スヘキコトノ承認ヲ得ルコトヲ要スル
モノナルカ故ニ隱居許可ノ申請ニ際シテハ若シ法定ノ推定家督相續人
アラハ之ヲ表示シ又若シ之ナケレハ指定家督相續人ヲ表示シ且其者カ
承認ヲ與ヘタルコトヲ證セシムル爲メ其者ヲシテ申請書ニ連署セシム
ルヲ相當トス是レ此規定アル所以ナリ

相續人ノ承認ハ指定相續人ノ場合ニ限リテ之ヲ要スルモノナルカ故ニ
法定ノ推定家督相續人ノ場合ニ在リテハ單ニ其表示ヲ爲スヲ以テ足レ
リ其者ヲシテ申請書ニ連署セシムルコトヲ要セザルナリ
茲ニ所謂署名トハ自署ノ義ナレハ他人ヲシテ代書セシムルコトヲ得ス
從テ相續人カ無筆ナルトキハ本法第八條ノ規定ニ依リ口頭陳述ヲ爲ス
ノ外ナシ

(二) 隱居ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス本法第九
〇條第三項

若シ此裁判ニ對シテ抗告ヲ許スコトトセンカ權利關係ヲ不確定ナラシ
メ公益ニ害アルノミナラス假令其許可力不當ナリトスルモ債權者等ノ
第三者ハ別段痛痒ヲ感スルコトナカルヘケレハナリ

第二款 廢家ノ許可

第一項 事件ノ意義

廢家ノ許可トハ家督相續ニ因リテ戶主ト爲リタル者カ本家ノ相續又ハ再興其
他正當ノ事由ニ因リ其家ヲ廢スルニ付キ裁判所カ民法第七百六十二條第二項
ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ廢家セントスル戶主ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモ

非訟事件手続法 各論 民事非訟事件 隠居廢家子ノ繼承家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件 二八二

ノトス(本法第九一條第一項) 是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ
利害關係人及ヒ檢事ハ廢家ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコト
ヲ得(本法第九一條第二項)

廢家許可ノ裁判ハ假令不當ナルトキト雖モ之ニ因リテ他人ノ權利ヲ害ス
ルコトハ其性質上殆ト想像シ得ヘカラサル所ナルモ而モ之ニ因リテ利害
關係人ノ利益又ハ公益ヲ害スルコトハ決シテ尠シトセス而シテ本法第二
十條第一項ノ規定ハ斯カル場合ノ救済方法タルニ足ラサルカ故ニ同項ノ

規定以外別ニ斯カル場合ニ對スル救済方法ヲ設ケルノ必要アリ是レ此規
定アル所以ナリ

第五項 手續ノ費用ノ負擔者

本事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ付キ總則ノ規定以外特ニ設ケラレタル規定左
ノ如シ

抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ニ付テハ申請人及
ヒ抗告人ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第七十二條第一項ノ規定ニ從ヒテ其
負擔者ヲ定ム(本法第九一條第三項第七八條)

廢家許可ノ手續ハ固ヨリ非訟事件ニシテ訴訟事件ニ非サルカ故ニ其手續
ノ費用ノ負擔ニ關シテ民事訴訟法ノ規定ヲ適用スヘキ限ニ在ラサルコト
ハ勿論ナリト雖モ此種ノ事件ノ申請人ト抗告人トハ反對ノ利害關係ニ在
ル者ナレハ手續ノ費用ニ付キテハ此兩者ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第
七十二條第一項ニ準シ其負擔者ヲ定ムルヲ相當トス是レ此規定アル所以

非訟事件手続法 各論 民事非訟事件 隠居廢家子ノ繼承家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件 二八三

ナリ 二 第三項 事件ノ手續

第三款 子又ハ被後見人ノ懲戒ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義

余カ茲ニ子又ハ被後見人ノ懲戒ニ關スル事件ト謂ヘルハ本法第九十二條ニ所謂子ノ懲戒ニ關スル事件ヲ指稱セルモノニシテ即チ裁判所カ民法第八百八十二條又ハ第九百二十一條ニ依リ親權ヲ行フ父若クハ母又ハ未成年者ノ後見人ノ其子又ハ被後見人ヲ懲戒場ニ入ルルコトヲ許可シ又一旦其許可ヲ與ヘタル後其懲戒場ニ入ルル期間ヲ短縮スルコトヲ云フモノナリ

本法第九十二條ニハ單ニ子ノ懲戒ニ關スル事件トアリテ被後見人ノ文詞ナキカ故ニ文字上ヨリ嚴格ニ解釋スルトキハ被後見人ノ懲戒ニ關スル事件ハ同條中ニ包含セラレサルモノト謂フヘキカ如シト雖モ後見ハ親權ノ變體ニ外ナラサルカ故ニ後見人ニ對シテ被後見人ヲ子ト呼フハ敢テ不當ニ非サルノミナラス若シ之ヲ包含セサルモノト解センカ被後見人ノ懲戒ニ關スル事

件ニ關シテハ竟ニ其管轄裁判所及ヒ其手續ノ規定ヲ缺クニ至ルヘキカ故ニ余ハ前陳ノ如ク同條ニ所謂子ノ懲戒ニ關スル事件中ニハ被後見人ノ懲戒ニ關スル事件ヲモ包含セルモノト解釋スルヲ妥當ト信スルナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ子又ハ被後見人ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス本法第九十二條第一項

本法第九十二條第一項ニハ單ニ子ノ住所地トアリテ被後見人ノ文詞ナシト雖モ同項ニ所謂子ナル文詞中ニハ被後見人ヲ包含スルモノト解スヘキコトハ第一項ノ說明ニ依リテ自ラ明カナルヘシ
此規定ハ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ

檢事ハ子又ハ被後見人ヲ懲戒場ニ入ルルコトヲ許可シタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得本法第九二條第二項

此種ノ裁判ハ動モスレハ子又ハ被後見人ノ利益ヲ蹂躪シ延イテ公益ヲ害スルノ虞アルカ故ニ此種ノ裁判ニ付キテハ公益ノ代表者タル檢事ニ抗告權ヲ認ムルヲ相當トス是レ此規定アル所以ナリ

第五項 手續ノ費用ノ負擔者

本事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ付キ總則ノ規定以外特ニ設ケラレタル規定左ノ如シ

抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ニ付テハ申請人及ヒ抗告人ヲ當事者ト看做シ民事訴訟法第七十二條第一項ノ規定ニ從テ其負

擔者ヲ定ム本法第九二條第三項第七八條

此立法上ノ理由ハ廢家ノ許可ニ關シ余カ前款第五項ニ述ヘタル所ニ同シ

第四款 家督相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁

判確定前ニ於ケル戸主權ノ行使ニ關

スル事件

第一項 事件ノ意義

余カ茲ニ家督相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定前ニ於ケル戸主權ノ行使ニ關スル事件ト謂ヘルハ即チ本法第九十三條ニ所謂民法第九百七十八條ノ戸主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ヲ指稱セルモノニシテ推定家督相續人ノ廢除若クハ其取消ノ請求アリタル後其裁判確定前ニ相續カ開始シタルトキ又ハ廢除ノ遺言アリタルトキハ裁判所カ民法第九百七十八條ニ依リ戸主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ家督相續人ノ廢除又ハ其取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス本法第九三條第六六條ニ依リテ此規定ノ意義及ヒ立法上ノ理由ハ相續人ノ廢除又ハ廢除取消ノ裁判確定前ニ於ケル遺產ノ管理ニ關スル事件ニ付キ余カ第二節第六款第二項ニ述ヘタル所ニ同シ

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第五款 家督相續人ノ選定ニ關スル許可

第一項 事件ノ意義

家督相續人ノ選定ニ關スル許可トハ家督相續人ヲ選定スヘキ者カ民法第九百

八十三條又ハ第九百八十五條第三項ニ依リ法定ノ順序ニ依ラスシテ選定ヲ爲サントスルトキ裁判所カ同條項ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス本法第九四條第一項ニ依リテ之ヲ管轄スル

相續開始地ハ即チ被相續人ノ住所地ニシテ民法第九六五條本事件ヲ審理スルニ最モ便宜ナル地位ニ在ルカ爲メナリ

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認めラレタル抗告ハ左ノ如シ

非訟事件手続法 各論 民事非訟事件 隱居廢家子ノ監戒或家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件 二八九

親族及ヒ檢事ハ申請ヲ許可シタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第九五條第一項)

法定ノ順序ニ依ラスシテ安ニ家督相續人ヲ選定セシムルトキハ親族ノ利益ヲ害シ又延イテ公益ヲ害スルノ虞アリ是レ本法カ申請許可ノ裁判ニ付テ親族及ヒ檢事ニ抗告權ヲ認メタル所以ナリ

第五項 手續ノ費用ノ負擔者

本事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ關シ總則ノ規定以外本法第二編第五章ニ於テ特ニ設ケラレタル規定左ノ如シ

(一) 裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス(本法第九四條第二項)

裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ハ其家ノ利益ト爲リタルモノト謂ハサルヘカラサルカ故ニ其手續ノ費用ハ之ヲハテ相續財産ニ負擔セシムルヲ相當トス是レ此規定アル所以ナリ

(二) 裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

(本法第九五條第二項第六二條)

此規定ノ意義及ヒ立法上ノ理由ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ付キ余カ第二節第一款第六項ニ述ヘタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス

第六款 親族會ニ關スル事件

親族會ニ關スル事件トハ各種ノ親族會ニ關スル事件ノ總稱ニシテ之ヲ親族會ノ種類ニ依リテ分類スルトキハ(一)無能力者ノ爲メニ設ケヘキ親族會ニ關スル事件、(二)家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件、(三)其他ノ事件ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件ノ三ト爲スコトヲ得

第一項 無能力者ノ爲メニ設ケヘキ親族會ニ

關スル事件

第一目 事件ノ意義及ヒ其分類

無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件トハ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關シ民法第九百四十四條第九百四十五條第一項第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項民法第九百五十條並ニ第九百五十二條ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノニシテ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)親族會員ノ選定(二)親族會員ノ辭任許可(三)親族會ノ招集(四)親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ノ四種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第九百四十四條及ヒ第九百四十五條第一項ノ親族會員ノ選定又ハ同法第九百五十條ノ其補缺員ノ選定ハ第一種ニ屬シ民法第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項ノ親族會員ノ辭任許可ハ第二種ニ屬シ民法第九百四十四條ノ親族會ノ招集ハ第三種ニ屬シ民法第九百五十二條ノ親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ハ第四種ニ屬ス

第二目 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ無能力者ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス本法第九六條第一項

是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三目 事件ノ手續

其一 親族會員ノ選定ニ關スル手續

此種ノ手續トシテハ總則ニ規定セラレタルモノノ外ハ僅ニ左ノ一アルノミ
裁判所ハ親族會員又ハ其補缺員ノ選定ニ付キ申請人又ハ民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ヲシテ會員タルニ適當ナル者ヲ指名セシムルコトヲ得本法第九九條

親族會員ノ選定ヲ爲スニ付キテハ先ツ何人カ適任ナルカラ決スルヲ要アリ而シテ裁判所カ之ヲ決スルニ付キテハ總則第十一條ニ依リ職權ヲ以テ

非訟事件手續法

隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相続人及ヒ親族會ニ關スル事件

事實ノ探知及ヒ必要ナル證據調ヲ爲スヘキヤ勿論ナリト雖モ申請人其他
民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ノ如キハ其事情ヲ熟知セル者ナレハ此
等ノ者ヲシテ適任者ヲ指名セシメ以テ裁判所ノ參考ニ供スルコトヲ得シ
ムルハ極メテ必要ナリトス是レ此規定アル所以ナリ

其二 親族會員ノ辭任許可ニ關スル手續

民法第九百四十六條第一項ニ規定セル親族會員ノ辭任ハ裁判所ノ許可ヲ要ス
ルモノナルコトハ本法第百條第一項ニ規定セル所ノ如シ而シテ其辭任許可ニ
關スル手續トシテハ總則ニ規定セラレタルモノノ外僅ニ左ノ一アルノミ
親族會員ノ辭任ヲ許可シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス(本
法第一〇〇條第二項)

一方ノ於テ此種ノ裁判ハ假令不當ナルトキト雖モ格別ノ弊害ナク他方ニ
於テ若シ之ニ對シテ不服ノ申立ヲ許サシカ徒ラニ親族會ノ行動ヲ阻止シ
延イテ權利關係ヲ長ク不確定ナラシムルノ虞アリ是レ此規定アル所以ナ

其三 親族會ノ招集ニ關スル手續

親族會ノ招集ニ關スル手續ヲ述フルニ先タチ親族會員ノ選定ト親族會ノ招集
トノ關係其他ニ付キ一二説明ヲ與フルノ要アリ
抑モ親族會員ノ選定トハ一定ノ人人ニ親族會員ナル一種ノ資格ヲ賦與スルノ
行爲ニシテ親族會ノ招集トハ既ニ親族會員ナル資格ヲ有セル數多ノ人人ヲ集
合シテ親族會ナル一種ノ合議體ヲ成立セシムル行爲ナリ故ニ此二者ハ其關係
恰モ帝國議會其他地方自治團體ノ議員ノ選舉ト帝國議會其他地方議會ノ召集
トノ關係ノ如ク理論上全ク別個ノ行爲ナルコト明カナリ然レトモ民法及ヒ本
法等ノ用語例ハ必スシモ毎ニ此理論ニ合致セズ時トシテハ親族會員ノ選定ト
親族會ノ招集トヲ總括シテ之ヲ單ニ親族會ノ招集ト言ヘルコトナキニ非ス例
ヘハ民法第九百四十四條又ハ本法第百一條第一項ニ於ケルカ如シ是レ注意ヲ
要スル點ナリ但余カ茲ニ親族會ノ招集ト言ヘルハ狹義ニ於テ之ヲ用ヒタルモ

ノナルコト勿論トス

前條ノ如ク親族會員ノ選定ト親族會ノ招集トハ別事ニ屬シ而カモ親族會ノ招集ハ親族會員アリテ初メテ之ヲ爲シ得ヘキモノナレハ親族會員ノ選定カ未タ其效力ヲ生セサル前ニ於テ親族會ノ招集ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論ナリト雖モ親族會員ノ選定カ其效力ヲ生スルト同時ニ之ヲ招集スルカ如キハ敢テ法律ノ禁スル所ニ非サルナリ故ニ裁判所カ親族會員ヲ選定シ且其親族會ヲ招集スヘキ場合ノ如キ同一決定ヲ以テ親族會員ノ選定ト其親族會ノ招集トノ裁判ヲ爲シ同時ニ之ヲ告知スルモ敢テ違法ト謂フヘカラス

親族會ノ招集ハ原則トシテ裁判所ノ專權ニ屬スト雖モ無能力者ノ爲メテ設ケタル親族會ニ限リ最初ノ招集ノ場合ヲ除ク外本人其法定代理人後見監督人保佐人又ハ會員ニ於テ之ヲ招集スルコトヲ得ヘシ(民法九四四條第九四九條)

親族會ヲ招集スルニモ他ノ合議體ヲ招集スルト同シク招集ノ日時及ヒ場所ヲ定メテ之ヲ爲スコトヲ要スルヤ勿論ナリ然レトモ其日時ハ單ニ會議ノ始期ヲ示スニ止マリ敢テ其終期ヲ示スモノニ非ス故ニ一度ヒ親族會ノ招集アリテ會

議ノ成立シタル以上ハ其會議ハ招集ノ目的タル事項ヲ議決スルニ至ルマテ繼續スルモノトス從テ會員ハ其議決ヲ爲スニ至ルマテハ幾回ニテモ集會シテ議事ヲ開クコトヲ得ヘシ

親族會ノ招集ハ原則トシテ裁判所ノ專權ニ屬スルコト前述ノ如クナルカ裁判所カ之ヲ招集スヘキ場合ニ於テモ單ニ其招集ヲ爲スヲ以テ足り決シテ其會議ニ所屬官吏ヲ立會ハシメテ之ヲ監督スルカ如キコトヲ爲スヘキモノニ非サルナリ

以上余ハ親族會ノ招集ニ關シテ注意スヘキ民法上ノ原則二三ヲ説明シタリ是レヨリ親族會ノ招集ニ關スル手續ヲ説明スヘキ順序ナルカ其手續トシテハ總則ニ規定セルモノノ外特殊ノ手續ナシ

其四 親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ニ關スル手續

此種ノ手續トシテハ總則ニ規定セラレタルモノノ外特殊ノ手續ナシ

第四目 抗告

無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告
ニモ亦通常抗告ト即時抗告トノ二種アリ左ニ之ヲ分説スヘシ

其一 通常抗告

無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ特ニ認メラレタル通常
抗告ハ左ノ如シ

(一) 民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會員タルコトヲ得サル者ノ選
任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第一〇一條第二項)

親族會員タルコトヲ得サル者トハ本人ノ後見人後見監督人保佐人民法
第九四六條第二項民法第九百八條第一號乃至第八號ニ列舉セル者民法
第九四六條第二項第九〇八條及ヒ親族其他本人又ハ其家ニ緣故アル者
ニ非サル者民法第九四五條第一項ヲ總稱シタルモノニシテ此等ノ者ハ

何レモ親族會員タルニ不當ナル者ナレハ此等ノ者ニシテ親族會員ニ
選定セラルルトキハ本人及ヒ關係人ノ利益ヲ害シ延イテ公益ヲ害スル
ノ虞アルコト多言ヲ要セス從テ若シ斯カル裁判アリタルトキハ本人ハ
勿論之ト密接ノ關係ヲ有スル者茲ニ公益ノ代表者タル檢事ヲシテ之ニ
對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得シムルヲ適當トス是レ此規定アル所以ナリ
(二) 親族會員其他民法第九百四十四條ニ掲ケタル者ハ親族會ノ決議ニ代ハル
ヘキ裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第一〇二條第一項)

親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ハ其效果重大ニ本人及ヒ關係人ノ利害
ニ影響スルコト多大ニシテ延イテハ又公益ニモ影響スヘキモノナレハ
之ニ對シテハ親族會員ハ勿論本人之ト密接ノ關係ヲ有スル者並ニ公益
ノ代表者タル檢事ヲシテ抗告ヲ爲スコトヲ得シムルヲ適當トス是レ此
規定アル所以ナリ

其二 即時抗告

無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ特ニ認メラレタル即時抗告ハ左ノ如シ

(一) 親族會ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第一〇一條第一項)

正當ノ理由ナキニ安ニ親族會ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下スルトキハ申請人ハ勿論關係人ノ不利益尠シトセス故ニ此種ノ裁判ニ對シテハ抗告ヲ許スヲ適當トス但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルヲ可トスルカ故ニ其抗告ハ即時抗告トスルヲ相當トス是レ此規定アル所以ナリ

(二) 親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第一〇二條第二項)

此立法上ノ理由モ(一)ニ於ケルト敢テ異ナル所ナシ

第五目 手續ノ費用ノ負擔者

本事件ノ手續ノ費用ノ負擔者ニ關シ總則ノ規定以外本法第二編第五章ニ於テ特ニ設ケラレタル規定左ノ如シ

(一) 裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔トス(本法第九六條第二項)

本事件ニ於テ裁判所カ申請ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ハ畢竟無能力者ノ利益ニ歸スルモノナレハ其費用ハ之ヲ無能力者ニ負擔セシムルヲ相當トス是レ此規定アル所以ナリ

(二) 前目ニ述ヘタル規定ニ依リ抗告ヲ爲ス者アリタル場合ニ於テ裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ無能力者ノ負擔トス(本法第一〇一條第三項第一〇二條第三項第六二條)

此規定ノ意義及ヒ其立法上ノ理由ハ不在者ノ管產ノ財理ニ關スル事件ニ付キ余カ第二節第一款第六項ニ述ヘタル所ニ同シ

第二項 家督相続人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件

第一目 事件ノ意義及ヒ其分類

家督相続人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關スル事件トハ家督相続人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ親族會ニ關シ民法第九百四十四條第九百四十五條第一項第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項民法第九百五十條並ニ第九百五十二條ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノニシテ今之ヲ其性質ニ從ヒテ分類スルトキハ(一)親族會員ノ選定(二)親族會員ノ辭任許可(三)親族會ノ招集(四)親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ノ四種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第九百四十四條及ヒ第九百四十五條第一項ノ親族會員ノ選定又ハ同法第九百五十條ノ其補缺員ノ選定ハ第一種ニ屬シ民法第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項ノ親族會員ノ辭任許可ハ第二種ニ屬シ民法第九百四十四條ノ親族會ノ招集ハ第三種ニ屬シ民法第九百五十二條ノ親族會ノ決議ニ代ハル

ヘキ裁判ハ第四種ニ屬ス

第二目 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ無能力者ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第九七條第一項)是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三目 事件ノ手續

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ前項第三目ニ説明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セヌ(本法第九九條第一〇〇條第一項)

第四目 抗告

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ前項第四目

非訟事件手続法

隱居廢家ノ子ノ懲戒、家督相続人及ヒ親族會ニ關スル事件

三〇二

ニ説明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス(本法第一〇一條第一項第二項第一〇二條第一項第二項)

第五目 手續ノ費用ノ負擔者

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ前項第五目ニ説明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス(本法第九七條第二項第一〇一條第三項第一〇二條第三項)

第三項

無能力者ノ爲メニ設クヘキモノ及ヒ家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキ

モノ以外ノ親族會ニ關スル事件
第一目 事件ノ意義及ヒ其分類

無能力者ノ爲メニ設クヘキモノ及ヒ家督相續人ノ選定ノ爲メニ開クヘキモノ以外ノ親族會ニ關スル事件トハ右二種ノ親族會以外ノ各種親族會(例ヘハ繼父

母又ハ嫡母カ成年ノ子ノ婚姻又ハ離婚ニ同意セサル場合ニ開クヘキ子ノ親族會民法第七七三條第八〇九條)繼父母又ハ嫡母カ成年ノ子ノ養子縁組又ハ離婚ニ同意セサル場合ニ開クヘキ子ノ親族會民法第八四六條第二項第八六三條第二項第七七三條)推定家督相續人ノ廢除ノ爲メニ開クヘキ被相續人ノ親族會(民法第九七五條第二項等)ニ關シ民法第九百四十四條第九百四十五條第一項第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項民法第九百五十條並ニ第九百五十二條ニ依リ裁判所管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱スルモノニシテ今之ヲ其性質ニ從テ分類スルトキハ(一)親族會員ノ選定(二)親族會員ノ辭任許可(三)親族會ノ招集(四)親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ノ四種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第九百四十四條及ヒ第九百四十五條第一項ノ親族會員ノ選定又ハ同法第九百五十條ノ其補缺員ノ選定ハ第一種ニ屬シ民法第九百四十六條第一項及ヒ本法第百條第一項ノ親族會員ノ辭任許可ハ第二種ニ屬シ民法第九百四十四條ノ親族會ノ招集ハ第三種ニ屬シ民法第九百五十二條ノ親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ハ第四種ニ屬ス

第二目 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ事件ノ本人ノ住所地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第九八條第一項)

是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三目 事件ノ手續

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ第一項第三目ニ說明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス(本法第九九條第一〇〇條第二項)

第四目 抗告

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ第一項第四目ニ說明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス(本法第一〇一條第一項第

二項第一〇二條第一項第二項)

第五目 手續ノ費用ノ負擔者

總ヘテ無能力者ノ爲メニ設クヘキ親族會ニ關スル事件ニ付キ余カ第一項第五目ニ說明シタル所ニ同シキヲ以テ重ネテ之ヲ贅セス(本法第九八條第二項第一〇一條第三項第一〇二條第三項)

第六節 相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件トハ相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル民事非訟事件ノ總稱ニシテ其ノ本法ニ規定セラルルモノニ二種アリ(一)相續ノ承認拋棄期間ノ伸長(二)相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述是ナリ

第一款 相續ノ承認拋棄期間ノ伸長

第一項 事件ノ意義

非訟事件手續法

相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

余カ茲ニ相續ノ承認拋棄期間ノ伸長ト謂ヘルハ即チ本法第百三條ニ所謂民法第一千七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ヲ指稱セルモノニシテ裁判所カ民法第一千七條第一項本文ニ規定セル相續人カ相續ノ單純若クハ限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲スニ付キテノ法定期間ヲ特定ノ相續ニ關シ特ニ伸長スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第一〇三條)

相續開始地ハ即チ被相續人ノ住所地ニシテ民法第九六五條第九九三條相續財産ノ大部分モ其内ニ存在スルヲ普通トスルカ故ニ本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ヲシテ之ヲ管轄セシムルノ最モ便宜ナルコトハ勿論ナリ是レ此規定アル所以ナリ

第三項 事件ノ手續

總則ニ規定セルモノノ外本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ
期間ノ伸長ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得本法第一〇六條)

期間伸長ノ申請ニシテ却下セラルトキハ申請人相續人等ノ利害ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキカ故ニ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタルナリ

抗告ハ申請人ニ限リテ之ヲ爲シ得ヘキコトハ台第百六條ノ法文ニ徴シテ自ラ明カナリ

第二款 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述

第一項 事件ノ意義

相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述トハ民法第一千二十六條又ハ第一千三十八條ニ依リ相續人カ相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ノ意思ヲ裁判所ニ對シテ表示スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス本法第一〇四條

是レ實際上ノ便宜ヨリ出テタルニ外ナラス

第三項 事件ノ手續

本事件ニ特殊ナル手續左ノ如シ

相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニハ本法第九條第一號第二號第四號及ヒ第五號ニ掲ケタル事項ノ外(一)被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所(二)相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシ本法第一〇五條

被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所ハ被相續人ノ何人ナルカヲ識別スルニ必要ナルノミナラス其最後ノ住所ノ如キハ裁判所ノ管轄ノ有無ヲ判定スルニモ必要ナルモノナレハ申述ニ之ヲ具備セシムルハ極メテ必要ノ事ト謂フヘシ若シ夫レ相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ニ至リテハ之ヲ申述ニ具備セシムルノ必要ナルコト勿論ナリ是レ此規定アル所以ナリ
 第一百五條ニハ申述人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシトアルカ故ニ一見此種ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ必要トスルカ如キ觀ナキニ非スト雖モ本法第八條ハ此種ノ申立ニモ其適用アルヘキコト勿論ナルカ故ニ此種ノ申立モ亦必スシモ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要セス口頭ヲ以テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノト解スヘシ

相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニ對シテハ許否ノ裁判ヲ爲スヘキモノナルヤ否ヤ本問ニ對シテ答フルニハ先ツ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ノ性質ヲ窮メサルヘカラス按ズルニ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ第一項ニ於テ述ヘタル如ク相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ノ相續人ノ意思表示ナレハ即チ民法上ノ法律行為ノ一種ニシテ敢テ裁判所ノ行為ヲ求ムル意思表示ニ非ズ是レ民法及ヒ本法カ其意思表示ヲ指稱スルニ特ニ申述ナル文詞ヲ用ヒ敢テ請求又ハ申請ノ文詞ヲ用ヒサリシ所以ナリ從テ相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニ對シテハ其カ適法ナル場合ト不適法ナル場合トヲ問ハス決シテ許否ノ裁判ヲ與フヘキ限ニ在ラス之ヲ法理ト爲ス然レトモ本法ニ在リテハ其第百六條ニ相續ノ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ト規定シ此種ノ申述ヲ却下スル裁判ナルモノヲ認メ居レルカ故ニ本法ノ解釋トシテハ前掲ノ法理ニノミ依ルコトヲ得スシテ申述カ適法ナル場合ニ在リテハ單ニ之ヲ受理スヘク(裁判ヲ爲スニ非ズ)其ノ不適法ナル場合ニ在リテハ之ヲ却下ス

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ
 六相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得(本法第一〇六條)
 相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ヲ却下スル處分ハ裁判ヲ以テ之ヲ爲スヘキコトハ前項ニ於テ説明シタル所ノ如シ而シテ此種ノ裁判ハ相續人關係人等ノ利害ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキモノナルカ故ニ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタリ
 抗告ハ申請人ニ限リテ之ヲ爲シ得ヘキコトハ右第百六條ノ法文ニ徴シテ自ラ明カナリ

第七節 遺言ノ確認及ヒ執行ニ關スル事件

遺言ノ確認及ヒ執行ニ關スル事件トハ遺言ノ確認及ヒ執行ニ關スル民事非訟事件ノ總稱ニシテ其ノ本法ニ規定セララルモノニ三種アリ(一)遺言ノ確認(二)遺言書ノ檢認(三)遺言執行者ノ任設ニ關スル事件是ナリ

第一款 遺言ノ確認

第一項 事件ノ意義

余カ茲ニ遺言ノ確認ト謂ヘルハ即チ本法第九條第一項ニ所謂民法第七十七六條及ヒ第七十八一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ヲ指稱セルモノニシテ疾病其他ノ事由ニ因リテ死亡ノ危急ニ迫リタル者カ民法第七十六條第一項ノ規定ニ依リ又ハ海軍ノ所屬ニ非サル船舶遭難ノ場合ニ於テ船舶中ニ在ル者カ同法第七十八一條本文ノ規定ニ依リ口頭ニテ遺言ヲ爲シタル場合ニ於テ裁判所カ之ヲ確認スルコトヲ云フナリ

口頭ノ遺言ハ前掲二種ノ外向ホ從軍中疾病傷疾其他ノ事由ニ因リテ死亡ノ危急ニ迫リタル軍人及ヒ軍屬カ民法第七十九條第一項ノ規定ニ依リテ爲スモノト海軍所屬ノ艦船遭難ノ場合ニ於テ艦船中ニ在ル者カ同法第七十八一條本文ノ規定ニ依リテ爲スモノトノ二種アリ此等ノモノモ前掲二種ノモノト同様確認ヲ得ルニ非サレハ其效力ナキモノナリト雖モ其確認ハ理事又ハ主理ニ於テ之ヲ爲スヘキモノニシテ裁判所ニ於テ之ヲ爲スヘキモノニ非サルナリ而シテ其手續ハ明治三十三年二月法律第三十三號ヲ以テ之ヲ規定セルカ概ネ本法ニ規定セルモノニ同シ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ遺言者ノ住所又ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第一〇九條第一項)

是レ審理上ノ便宜ヨリ出テタルモノニ外ナラス而シテ茲ニ住所又ハ相續開始地トアルハ確認ノ申請ヲ遺言者ノ生前ニ爲ストキハ住所遺言者ノ死

後ニ爲ストキハ相續開始地ノ裁判所ノ管轄トスルノ趣旨ナリ

第三項 事件ノ手續

遺言ノ確認ハ裁判所カ遺言カ遺言者ノ真意ニ出テタル心證ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルコトハ民法第七十六條第三項又ハ第八十一條本文ニ規定セル所ノ如クナルカ其他ニハ本事件ニ特殊ナル手續ナシ

第四項 抗告

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ

(一)申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得本法第一一〇條第一項

遺言確認ノ申請ニシテ却下セラルルトキハ相續人其他ノ關係人ノ利害ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキカ故ニ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗

告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタルナリ

抗告ハ申請人ニ限リテ之ヲ爲シ得ヘキコトハ右第一百條第一項ノ法文

ニ徴シテ自ラ明カナリ

(二)遺言確認ノ裁判ニ對シテハ利害關係人及ヒ檢事ヨリ即時抗告ヲ爲スコトヲ得但抗告ノ期間ハ確認ノ申請人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス(本法第一一〇條第二項)

遺言カ確認セララルトキモ亦相續人其他ノ關係人ノ利害ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキカ故ニ其裁判ニ對シテハ利害關係人及ヒ檢事ヨリ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタリ

第五項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シ本事件ニ特殊ナル規定左ノ如シ

手續ノ費用及ヒ抗告手續ノ費用ハ遺言者又ハ相續財産ノ負擔トス(本法第一

○九條第二項第一一〇條第三項

茲ニ手續ノ費用ト言ヘルハ第一審ノ手續ノ費用ノ義又遺言者又ハ相續財產ノ負擔トアルハ確認ノ手續ニシテ遺言者ノ生前ニ爲サレタルトキハ遺言者ノ負擔遺言者ノ死後ニ爲サレタルトキハ相續財產ノ負擔タラシムルノ趣旨ナリ

右規定ニ據レハ第一審及ヒ抗告審ノ費用ハ申請人又ハ抗告人カ遺言者ナル場合ト否トヲ問ハス又申請又ハ抗告カ採用セラレタル場合ト排斥セラレタル場合トヲ別タス毎ニ遺言者又ハ相續財產ノ負擔タルヘキコトト爲リ居レリ遺言カ第一審又ハ抗告審ニ於テ確認ヲ得タル場合ニ於テ手續ノ費用ヲ遺言者又ハ相續財產ニ負擔セシムルハ正當ナルヘシト雖モ申請カ第一審又ハ抗告審ニ於テ却下セラレタル場合ニ於テハ手續ノ費用ハ之ヲ申請人ノ負擔トシ又抗告カ棄却セラレタル場合ニ於テハ抗告審ノ費用ハ之ヲ抗告人ノ負擔トスル等場合ニ依リテ負擔者ヲ異ニスル方公平ニ非サルカ勿論總則第二十八條ノ規定ノ在ルカ故ニ假令特別編ノ規定ニシテ不

公平ナリトスルモ絕對ニ之ヲ匡正スルノ途存セサルニハ非スト雖モ而モ同條ノ規定ハ止ムヲ得サル場合ニ處スル變則タルニ外ナラサルカ故ニ特別編ノ規定ヲ設クルニ當リテハ可及的公平ノ方法ニ依ルヲ當然トスヘキニ非サルカ要スルニ右規定ハ聊カ其當ヲ得サルモノアルカ如シ

第二款 遺言書ノ檢認

第一項 事件ノ意義

遺言書ノ檢認トハ民法第千百六條ニ依リ裁判所カ遺言書ヲ檢認スルコトヲ云フナリ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(本法第一一一條)

相續開始地ハ即チ遺言者ノ住所地ナレハ民法第九六五條第九九三條相續開

非訟事件手續法 遺言ノ確認及ヒ執行ニ關スル事件

始地ヲ管轄スル裁判所ハ本事件ヲ審理スルニ最モ便利ナル地位ニ在ルカ爲メナリ

第三項 事件ノ手續

本事件ニ特殊ナル手續左ノ如シ

- (一) 遺言書ノ檢認ハ公證人カ記載シタルモノヲ除ク外遺言ノ方式ニ關スル總テノ事實ヲ調査シテ之ヲ爲ス
 - 是レ遺言書ノ檢認ハ遺言書カ民法第五編第六章第二節第一款及ヒ第二款ニ規定セル方式ニ適合セルヤ否ヤヲ檢査スルヲ目的トスルモノナルカ爲メナリ
 - 裁判所カ右ノ調査ヲ爲スニ付キテハ公證人鑑定人ノ訊問等ノ證據調其他事實ノ探知ヲ爲スヘキヤ勿論トス
 - 檢認ノ目的ハ前陳ノ如ク遺言書カ遺言ノ方式ニ適合セルヤ否ヤヲ檢査スルニ在ルカ故ニ遺言ノ方式ニ關係ナキ事項例ヘハ遺言者ノ能力ノ有

無遺言ノ實質ノ適法ナルヤ否ノ如シハ之ヲ調査スヘキ限ニ在ラス

右ニ所謂公證人カ記載シタルモノトハ民法第七十條第一項第四號又ハ第七十二條第二項ニ依リ公證人カ遺言書ノ封紙ニ爲シタル記載ヲ云ヘルモノニシテ公正證書ニ依ル遺言ヲ包含スルモノニ非ス何トナレハ公正證書ニ依ル遺言ハ檢認ヲ經ヘキモノニ非サルコト民法第千百六條第二項ニ規定セル所ノ如クナレハナリ而シテ何故ニ公證人カ爲シタル記載ハ之ヲ調査セサルカト云フニ公證人ハ公吏ニシテ十分ノ信用ヲ有スル者ナレハナリ

民法第千八十六條ニ據レハ日本ノ領事ノ駐在スル地ニ在ル日本人カ秘密證書ニ依リテ遺言ヲ爲サント欲スルトキハ公證人ノ職務ハ領事之ヲ行フヘキモノナルカ故ニ右ニ所謂公證人ナル語中ニハ領事ヲモ包含スルモノト解釋セサルヲ得ス

- (二) 封印アル遺言書ノ開封ニ付テハ豫メ其期日ヲ定メテ相續人ヲ呼出スコトヲ要ス(本法第一一三條)

封印アル遺言書秘密證書ニ依ル遺言ニ限ラズハ之カ檢認ヲ爲スニ當リテ先ツ之ヲ開封スルノ必要アリ然ルニ其開封ハ相續人又ハ其代理人ノ立會ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サル民法第一一〇六條第三項カ故ニ其開封ニ付キテハ相續人ヲ呼出スノ必要アリ是レ此規定アル所以ナリ

相續人又ハ代理人カ期日ニ出頭セサルトキハ更ニ期日ヲ定メテ之ヲ呼出ササルヘカラス決シテ其立會ナクシテ開封ヲ爲スコトヲ得ス

(三)

遺言書ノ提出開封及ヒ檢認ニ付テハ調書ヲ作リテ(イ)提出者ノ氏名住所(ロ)提出開封及ヒ檢認ノ年月日(ハ)立會人ノ氏名住所(ニ)訊問シタル證人鑑定人相續人其他ノ利害關係人ノ氏名住所及ヒ其陳述(ホ)事實調査ノ結果ヲ記載シ判事書記及ヒ立會人之ニ署名捺印スヘシ(本法第一一四條)

遺言書ハ相續人受遺者其他ノ利害關係人ニ對シ重要ナル關係ヲ有スルモノナレハ其提出開封及ヒ檢認ニ關スル要項ハ調書ヲ以テ之ヲ明確ニスルコト極メテ必要トス是レ此規定アル所以ナリ

右第百十四條ニハ提出開封及ヒ檢認ノ調書ヲ一括シテ規定セルモ此等ノ調書ハ必スシモ之ヲ一通ノ調書ニ作成スルコトヲ要スルモノニ非ス此等ノ事實カ日ヲ異ニシテ行ハレタル場合ノ如キ却テ各別ニ之ヲ作成スルヲ相當トス

右ニ所謂立會人トハ即チ民法第百六條第三項ノ規定ニ基ツキ遺言書ノ開封ニ立會ヒタル相續人又ハ代理人ヲ指稱セルモノニシテ裁判所ニ於テ特ニ立會人ヲ選定セシムルノ趣旨ニ非ス

又右ニ所謂事實調査ノ結果トハ即チ本法第百十二條ノ規定ニ基ツキ裁判所カ調査ヲ爲シテ得タル結果ヲ云フ

斯クノ如ク遺言書ノ提出ニ付キテハ調書ヲ作成スヘキモノナルカ故ニ遺言書ヲ提出シテ其檢認ヲ申請スル者アルトキハ判事及ヒ書記ハ直チニ法廷ニ臨ミ調書ヲ作成セサルヘカラス

立會人カ無筆印形失念其他ノ事由ニ因リ署名捺印ヲ爲スコト能ハサル場合又ハ署名捺印ヲ拒ミタル場合ニ於テ如何ニスヘキカニ付キテハ封

印實施ノ調査ニ關シ余カ第二節第一款第三項第一目其第二一乙三ニ述
ヘタル所ヲ觀ルヘシ

前ニ述ヘタルカ如ク裁判所カ調査ヲ爲シテ得タル結果ハ之ヲ調査ニ記
載スヘキモノナルカ故ニ尙モ檢認ノ申請ニシテ適法ナル以上ハ裁判所
カ事實調査ノ結果遺言書カ法定ノ方式ヲ具備セリト認メタル場合ト法
定ノ方式ニ缺タル所アリト認メタル場合トヲ論セス單ニ其結果ヲ調査
ニ記載スルヲ以テ足リ別ニ裁判ヲ爲スヘキモノニ非ス但檢認ノ申請ニ
シテ不適法ナル場合例ヘハ裁判所ノ管轄ヲ誤レルトキ又ハ遺言書ヲ提
出シテ檢認ヲ申請セルトキノ如シニ於テ申請却下ノ裁判ヲ爲スヘキコ
トハ勿論トス

(四)

裁判所ハ遺言書ノ開封及ヒ檢認ヲ爲シタルトキハ出頭セザリシ相續人其
他遺言ノ旨趣ニ關係アル者ニ其旨ヲ告知スヘク又此等ノ者ハ裁判所ノ許
可ヲ得テ(三)ノ調査ヲ閱覽スルコトヲ得不法第一一五條

茲ニ所謂遺言ノ旨趣ニ關係アル者トハ受遺者ヲ初トシ遺言ニ依リテ遺

言執行者ニ指定セラレ若クハ遺言執行者ノ指定ヲ委託セラレタル者民
法第一一〇八條第一項遺言ニ依リテ認知セラレタル私生子(民法第八二
九條第二項遺言ニ依リテ養子ト爲ルヘキ者)民法第八四八條第一項遺言
ニ依リテ後見人ニ指定セラレタル者(民法第九一〇一條遺言ニ依リテ後見
監督人ニ指定セラレタル者)民法第九一〇一條遺言ニ依リテ親族會員ニ選
定セラレタル者(民法第九四五條第二項及ヒ遺言ニ依リテ家督相續人ニ
指定セラレ若クハ家督相續人ノ指定ヲ取消サレタル者)民法第九八一條
ノ如キヲ云フ

遺言書ノ開封及ヒ檢認ノ事實ハ相續人其他前陳ノ如キ遺言ノ旨趣ニ關
係アル者ニ對シテ重要ナル關係ヲ有スル事實ナレハ若シ此等ノ者ニシ
テ期日ニ出頭セザリシモノアルトキハ裁判所ハ之ニ對シテ該事實ヲ告
知スヘク又(三)ノ調査ハ此等ノ者ヲシテ之ヲ閱覽スルコトヲ得シムルヲ
相當トス是レ此規定アル所以ナリ(第一百五條第二項ニ前項ニ掲ケタル
者トアルハ單ニ相續人其他遺言ノ旨趣ニ關係アル者ト言フヘキヲ略稱

シタルニ過キスシテ其カ期日ニ出頭シタルト否トハ之ヲ問ハサルモノト解スヘキコトハ敢テ絮説ヲ要セサルヘシ

第四項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シ本事件ニ特殊ナル規定左ノ如シ
遺言書ノ提出開封並ニ檢認及ヒ其告知ノ費用ハ相続財産ノ負擔トス(本法第一一六條)

此規定ノ意義ハ別ニ説明ヲ要セスシテ明ナルヘシ但之ニ據レハ檢認ノ申請カ不適法ナル爲メ却下セラレタル場合ニ於テモ尙ホ且ツ提出等ノ費用ハ相続財産ノ負擔ニ歸スルコトトナリ甚タ不公平ナル結果ヲ生スヘシ

第三款 遺言執行者ノ任設ニ關スル事件

第一項 事件ノ意義及ヒ其分類

遺言執行者ノ任設ニ關スル事件トハ民法第千二百十二條第千二百二十條第二項及

ヒ第千二百二十一條ニ依リ裁判所ノ管轄ニ屬スル一切ノ事件ヲ總稱セルモノニシテ今之ヲ其性質ニ從ヒ分類スルトキハ(一)遺言執行者ノ選任(二)遺言執行者ノ就職拒絕(三)遺言執行者ノ解任(四)遺言執行者ノ辭任ノ四種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ民法第千二百十二條第一項ノ遺言執行者ノ選任ハ第一種ニ屬シ同條第二項ノ遺言執行者ノ就職拒絕ハ第二種ニ屬シ同法第千二百二十一條第一項ノ遺言執行者ノ解任ハ第三種ニ屬シ同條第二項ノ遺言執行者ノ辭任ハ第四種ニ屬ス若シ夫レ同法第千二百二十條第二項ノ報酬給與ノ處分ニ至リテハ法律ハ之ヲ以テ第一種ノ遺言執行者ノ選任ニ附隨セル從タル手續ト看做シ敢テ獨立セル一種ノ事件トハ看做ササルナリ

前掲民法第千二百二十一條第二項ニ所謂遺言執行者ハ獨リ裁判所ノ選任シタルモノノミニ限ラス遺言者又ハ其委託ヲ受ケタル者ノ指定シタルモノヲモ包含セルコト勿論ナレハ遺言者又ハ其委託ヲ受ケタル者ノ指定シタル遺言執行者ト雖モ亦其任務ヲ辭スルニハ正當ノ事由アルコトヲ要スルモノト謂ハサルヲ得ス而シテ其正當ノ事由ノ有無ハ裁判所ノ選任シタル遺言執行者

ノ辭任ノ場合ト同様裁判所ヲシテ之ヲ判斷セシムルノ外ナカルヘキカ故ニ其辭任ニ關スル手續ハ裁判所ノ選任シタル遺言執行者ノ辭任ニ關スル手續ト一併シテ之ヲ本法中ニ規定スルノ必要アルヤ論ヲ俟タス然ルニ本法第七條第二項ニ於テ特ニ裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セントスルトキハ「ト言ヒテ遺言者又ハ其委託ヲ受ケタル者ノ指定シタル遺言執行者ノ辭任ノ場合ヲ除外シタルハ余其何故ナルカヲ知ルニ苦ム立法論ハ暫ク措キ解釋論トシテハ疑義ヲ容ルルノ餘地ナキカ故ニ遺言者又ハ其委託ヲ受ケタル者ノ指定シタル遺言執行者ノ辭任ニ關スル手續ハ本法中ニ其規定ナキモノト爲スノ外ナク其結果余カ第四種トシテ舉ケタル遺言執行者ノ辭任トハ單ニ裁判所ノ選任シタル遺言執行者ノ辭任ノミヲ指稱シタルモノニシテ遺言者又ハ其委託ヲ受ケタル者ノ指定シタル遺言執行者ノ辭任ヲ包含セサルモノト知ルヘシ

第二項 事件ノ管轄裁判所

本事件ハ何レモ相續開始地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス(民法一〇七條第一項第二項)

此立法上ノ理由ハ遺言書ノ檢認ニ關シ余カ前款第二項ニ述ヘタル所ニ同シ

第三項 事件ノ手續

本事件ニ特殊ナル手續ハ僅ニ左ノ一アルノミ
遺言執行者ヲ選任シタル裁判又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ムコトヲ許シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス(本法第一〇八條第一項)
茲ニ列舉セル種類ノ裁判ハ假令ハ不當ナル場合ト雖モ格別ノ弊害ヲ生スルコトナキニ反シ若シ之ニ對シテ不服ノ申立ヲ許サンカ遺言ノ執行ヲ遲滯セシメ利害關係人ニ損害ヲ及ホスノ虞アルカ故ニ之ニ對シテハ不服ノ申立ヲ許ササルコトトシタルナリ

第四項 抗告

非訟事件手続法 遺言ノ職置及ロ執行ニ關スル事件

本事件ニ付キ特ニ認メラレタル抗告ハ左ノ如シ

(一) 遺言執行者ノ選任若クハ解任ノ申請又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ム申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得本法第一〇八條第二項

此種ノ裁判ハ申請人ノ利害ニ影響スルコト大ナルカ故ニ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタルナリ

此抗告ハ申請人ニ限リテ之ヲ爲シ得ヘキモノナルコトハ右第百八條第二項ノ法文ニ徴シテ自ラ明カナリ

(二) 遺言執行者ノ解任ヲ命シタル裁判ニ對シテハ遺言執行者ヨリ即時抗告ヲ爲スコトヲ得但抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス本法第一〇八條第三項

此種ノ裁判ハ遺言執行者ノ利害ニ影響スルコト大ナルカ故ニ之ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ許シタルナリ但此種ノ裁判ハ速ニ之ヲ確定セシム

ルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタルナリ

解任ヲ命スル裁判ハ申請人及ヒ遺言執行者ニ告知スヘキモノナルカ爲メ抗告期間ノ計算ニ關シ疑義ヲ生スルノ虞ナキニ非ス是レ第百八條第三項ニ於テ之ヲ明カニシタル所以ナリ

第五項 手續ノ費用ノ負擔者

手續ノ費用ノ負擔者ニ關シ本事件ニ特殊ナル規定左ノ如シ

(一) 遺言執行者ノ選任就職拒絕解任及ヒ辭任ノ事件ニ付キ裁判所カ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス(本法第一〇七條第三項)

蓋シ此場合ニ於テハ其手續ハ遺言執行者ノ爲メ必要ナリシモノト看做ササルヘカラサレハナリ

(二) 前項(第四項)ノ抗告アリタル場合ニ於テ裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審

ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス(本法第一〇八條第四項第六二條)

此規定ノ意義及ヒ立法上ノ理由ハ不在者ノ財産ノ管理ニ關スル事件ニ

關シ余カ第二節第一款第六項ニ述ヘタル所ニ同シキヲ以テ茲ニ重ネテ

贅セス

第八節 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記

法人ノ登記トハ民法第四十五條第一項第三項第四十六條第四十八條第四十九條第七十七條第一項民法施行法第二十條第一項並ニ民法第三十五條第二項ニ依リ民事法人ニ關シテ爲スヘキ一切ノ登記但シ清算人ニ關スル登記ヲ除クヲ總稱シ夫婦財産契約ノ登記トハ民法第七百九十四條第七百九十五條第七百九十七條民法施行法第六十九條第二項其他法律ノ暗黙ノ規定ニ依リ夫婦財産契約ニ關シテ爲スヘキ一切ノ登記法律ノ暗黙ノ規定ニ依リ爲スヘキ登記ノ何物ナルカハ次款第二項ニ之ヲ説明スヘシヲ總稱ス

營利ヲ目的トスル内國法人ノ登記ニ關シテハ商事會社ノ登記ニ關スル規定ヲ

準用スヘキコト本法第二百二十五條第五百十六條及ヒ明治三十二年司法省令第十五號法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第十一條ノ規定スル所ノ如クナルカ故ニ其手續ハ次章ノ説明ニ讓リ茲ニ之ヲ省略スヘシ

法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第十一條ニハ單ニ營利ヲ目的トスル法人ノ登記ニハ商事會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用スルアリテ内國法人ニ限リタル文詞ノ見ルヘキモノナキカ故ニ苟モ營利ヲ目的トスルモノナラハ外國法人ト雖モ商事會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用スヘキモノナルカ如キ觀ナキニ非スト雖モ同條ノ規定ハ元ト民法第三十五條第二項ノ規定此規定ハ内國法人ニノミ適用スヘキモノナリヨリ胚胎シタルモノニ外ナラサレハ此類ノ規定ナク從テ公益ヲ目的トスルモノト營利ヲ目的トスルモノトニ論ナク單ニ民法第四十九條第一項ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ルヘキ外國法人ニ對シ同條ヲ適用スヘキ理アルヘカラサルカ故ニ同條ハ單ニ内國法人ニ對シテノミ之ヲ適用スヘキモノト解セサルヲ得ス

法人營利ヲ目的トスル内國法人ヲ除ク以下皆同シ及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ

開スル規定ハ本法第二編第八章ニ在リ而シテ其中ニハ各種ノ法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ共通ナルモノト其特種ノ登記ニ特有ナルモノトアリ先ツ前者ヨリ説明シ次ニ後者ノ説明ニ移ラン

第一款 通論

今之ヲ述フルニ當リ便宜ノ爲メ左ノ數項ニ分ツヘシ

第一項 登記所

● 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ付キテハ區裁判所及ヒ其出張所ヲ以テ登記所トス(本法第一一七條第一一八條第一二四條)
登記所ノ管轄ハ法人ノ登記ニ在リテハ法人ノ事務所ノ所在地ニ依リ夫婦財産契約ノ登記ニ在リテハ夫ト爲ルヘキ者夫ト爲ルヘキ者カ入夫又ハ婿養子ナルトキハ妻ト爲ルヘキ者ノ住所地ニ依リテ之ヲ定ム(本法第一一七條第一一八條第一二四條)

右ノ規定ニ依リ一登記所ノ管轄ニ屬スル登記事務ハ他ノ登記所ニ於テ之ヲ取扱フコトヲ得ス之ヲ本則ト爲ス然ルニ我國現時ノ狀態ヲ視レハ法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ハ其數極メテ僅少ニ從テ右ノ本則ニノミ依ルトキハ國家ノ經濟上甚タ不利益ナルヘキカ故ニ時宜ニ依リテハ元來一登記所ノ管轄ニ屬スル此種ノ登記事務ヲ他ノ登記所ニ委任スルコトヲ得シムルヲ可トス依リテ本法ハ司法大臣ニ其見込ニ依リ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スル此種ノ登記事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得シメタリ(本法第一二五條第一五五條)

此委任ハ單ニ一登記所ヲシテ他ノ登記所ニ代リ其管轄ニ屬スル事務ヲ攝行セシムルノ效果ヲ有スルニ止マリ敢テ他ノ裁判所ノ管轄ヲ喪失セシムルノ效果ヲ有スルモノニ非ス從テ登記簿及ヒ附屬帳簿ノ如キハ各別ニ之ヲ備ヘサルヘカラス

法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ハ直チニ私權ノ得喪變更ニ影響スルモノナルカ故ニ其事務ハ一日モ之ヲ廢スルカ如キコトナカラシコトヲ要スルハ論ヲ俟タサル所ナレトモ或ハ登記所應含移轉ノ爲メ或ハ天災地變ノ爲メ等稀ニハ其事

務ヲ停止スルノ止ムヲ得サルコトナキニ非ス斯カル場合ニ於テハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得ルナリ本法第一二五條第一五七條不動産登記法第一〇條登記事務ノ停止ハ登記所ノ職權中止ノ效果ヲ生スルモノナレバ彼ノ大祭祝日・日曜日ノ如キトハ異ナリ其停止中ハ絶對的ニ登記ヲ爲スコトヲ得ス假令之ヲ爲スモ其登記ハ登記トシテ效力ヲ有セサルナリ

第二項 登記官吏

法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ハ區裁判所及ヒ其出張所ノ管掌ニ屬スルコトハ前項述ヘタル所ノ如シ而シテ此等ノ官廳ニ於テ其事務ヲ取扱フヘキ者即チ登記官吏ハ判事ヲ以テ之ニ充ツルヲ原則トシ其例外トシテ區裁判所出張所ニ在リテハ裁判所書記ヲ以テ之ニ充テテ又北海道及ヒ島嶼ニシテ區裁判所遠隔ノ地方ニ在リテハ司法大臣ノ委任ヲ受ケタル郡長町長又ハ村長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得ルナリ裁判所構成法第一一條第一項同施行條例第一一條第二項第三項

登記官吏カ其職務ノ執行上故意又ハ過失ニ因リ申請人其他ノ關係人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ登記官吏ヲシテ之カ賠償ノ責ニ任セシムルヲ相當トス唯輕微ナル過失ノ場合ニモ尙ホ其責ヲ負ハシムルハ聊カ酷ニ失スト謂フヘシ故ニ本法ハ登記官吏ハ故意及ヒ重大ナル過失ノ場合ニ限り賠償ノ責ニ任スヘキモノトセリ本法第一二五條第一五七條不動産登記法第一三條但茲ニ所謂過失ノ程度ハ公法上ノ標準ニ依リ職務ニ忠實ナル官吏ノ用フヘキ注意ノ程度ヲ基礎トシテ之ヲ測定スヘキモノトス

第三項 登記ニ關スル帳簿

各登記所ニハ法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ヲ備フヘキモノトス本法第一一九條

法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ハ各一定ノ様式ニ依リテ之ヲ調製シ前者ニハ登記番號欄登記年月日及ヒ登記官吏捺印欄第一欄乃至第十欄變更欄ノ諸欄ヲ後者ニハ登記番號欄契約者ノ氏名住所欄夫婦財産契約欄管理者ノ變更及

非訟事件手續法 法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記

共有財産ノ分割欄消滅欄ノ諸欄ヲ備フヘキモノトス(本法第一二五條第一五
六條)法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一條)

登記所ハ法人登記簿及ヒ夫婦財産契約登記簿ノ附屬トシテ見出帳受附帳謄本
抄本證明書交附帳法人登記申請書届書附屬書類送込帳夫婦財産契約登記申請
書附屬書類送込帳受領證原符元帳決定原本送込帳登記簿謄本送込帳帳登記簿
證交付帳抗告書類送込帳及ヒ印鑑簿ヲ備フヘキモノトス(本法第一二五條第一
四一條)第一五六條)法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第二條第三條)

登記簿ハ土地ノ區域等ニ依リ之ヲ分設スルコトヲ得ルヤ否本法並ニ法人及ヒ
夫婦財産契約登記取扱手續ニハ不動産登記法第十四條第二項ノ如キ明文ハナ
キモ別ニ之ヲ禁止シタル規定存セサルノミナラス反テ法人及ヒ夫婦財産契約
登記取扱手續第十條ニ於テ商業登記取扱手續第三十一條ヲ準用セルヲ以テ觀
レハ之ヲ分設スルコトヲ得ルモノト解釋スルヲ相當トスヘキ歟

登記簿ハ何レモ地方裁判所ニ於テ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スヘキモノ
ニシテ(本法第一二五條第一五六條)法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇

條不動産登記法施行細則第四條其登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏
面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲ス
ヘキモノトス(本法第一二五條第一五七條)不動産登記法第一八條)

蓋シ登記簿ノ増減變換ヲ防キ以テ登記ノ信用ヲ保障センカ爲メナリ
登記簿及ヒ其附屬書類ハ私權ノ得喪變更ニ密接ノ關係ヲ有スルモノナレハ其
保管ハ之ヲ嚴重ニセサルヘカラス故ニ登記簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合
ノ外之ヲ登記所外ニ持出スコトヲ得ス又登記簿ノ附屬書類ハ事變ヲ避クル爲
メニスル場合及ヒ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタル場合ノ外之ヲ
裁判所ニ持出スコトヲ得サルナリ(本法第一二五條第一五七條)不動産登記法第
二二條)

前陳ノ如ク登記簿及ヒ其附屬書類ハ私權ノ得喪變更ニ密接ノ關係アルモノナ
レハ務メテ其滅失ヲ豫防セサルヘカラス故ニ其滅失ノ虞アルトキハ司法大臣
ハ之ヲ豫防ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得ルナリ(本法第一二五條第一五七
條)不動産登記法第二四條)

登記ノ目的ハ之ニ依リテ法人及ヒ夫婦財産契約ノ狀態ヲ公示セントスルニ在
 ルヲ以テ登記簿及ヒ其附屬書類ハ之ヲ公開スルノ必要アリ故ニ本法ハ何人ニ
 モ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又手数料ヲ納付スルトキハ之ニ其謄本若クハ抄本ヲ交
 付シ登記事項ニ變更ナキコト若クハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ與ヘ且ツ
 登記上利害ノ關係ヲ疏明シタル者ニハ其關係アル部分ニ限り登記簿ノ附屬書
 類ノ閲覧ヲ許スヘキモノトセリ(本法第一二五條第二四二條第一四三條)
 登記簿若クハ其附屬書類ノ閲覧登記簿ノ謄本抄本ノ交附又ハ登記事項ニ變
 更ナキコト若クハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ノ手續ニ付キテハ本法第百
 二十五條第百五十六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第十條商業登記
 取扱手續第十條乃至第十三條不動産登記法施行細則第三十三條乃至第三十
 七條及ヒ明治三十二年司法省令第十四號ヲ觀ルヘシ
 登記所ノ管轄地ハ或ハ特別ノ法律ノ制定ニ因リ裁判所構成法第四條或ハ特別
 ノ司法省令ノ制定ニ因リ裁判所構成法施行條例第一一條第一項明治二十二年
 勅令第六四號治安裁判所出張所設置ノ件或ハ町村ノ變更ニ因リ裁判所構成法

施行條例第三條變更ヲ生ス此等ノ原因ニ因リ甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登
 記所ノ管轄ニ轉屬シタル場合ニ於テハ甲登記所ハ其轉屬シタル部分ニ屬スル
 登記簿又ハ其謄本但現在セル登記ノミヲ謄寫スルヲ以テ足ル及ヒ附屬書類又
 ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送シ且ツ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ
 因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖ス
 ヘク乙登記所ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘク
 其之ヲ爲スニ付キテハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序
 ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ
 記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏
 捺印スヘキモノトス(本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取
 扱手續第一〇條商業登記取扱手續第三一條第三二條)
 商業登記取扱手續第三十一條第一項ニ登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ
 其謄本ヲ移送スヘシトアルハ原本ト謄本トノ選擇ヲ登記所ニ委任スルノ趣
 旨ニハ非スシテ其轉屬シタル區畫ニ對シ獨立ノ登記簿アルモノハ原本ヲ然

ヲサルモノハ 贈本ヲ移送スヘシトノ趣旨ナリ 不動産登記法第九條商業登記
取扱手續第一條乃至第三條參照
移送ノ手續ニ付キテハ尙ホ本法第二百二十五條第百五十六條法人及び夫婦財
産契約登記取扱手續第十條及び不動産登記法施行細則第三十六條第二項ヲ
觀ルヘシ

第四項 登記

登記ニ關シテハ説明スヘキ事項尠カラズ依リテ更ニ數目ニ分チテ之ヲ述フヘ
シ

第一目 登記ヲ爲スヘキ場合

登記ハ當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルヲ原則トシ本法ニ
別段ノ定アル場合ニ限リ例外トシテ當事者ノ申請ナキモ之ヲ爲スコトヲ得本
法第一二五條第一四七條

本法ニ別段ノ定アル場合トハ例ヘハ本法第二百二十四條及び第二百三條ヲ以
テ届出ニ因リ登記ヲ爲スヘキコトヲ規定セル場合ノ如キヲ云フ但夫婦財産
契約ノ登記ニ關シテハ本法中當事者ノ申請ニ因ラスシテ登記ヲ爲シ得ヘキ
コトヲ規定シタル場合一モ存セス

第二目 登記ノ申請

登記ノ申請ニ必要ナル條件左ノ如シ

(一) 登記ノ申請ハ登記事項ノ種類ニ應ジ本法ニ定メタル一定ノ人人ヨリ之ヲ
爲スコトヲ要ス但本法ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於
テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニ
テ申請ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ其事由ヲ證明スルコトヲ要ス本法
第一二〇條乃至第一二五條第一四八條第一五〇條法人及び夫婦財産契約
登記取扱手續第七條

登記ノ申請ヲ爲スヘキ者ハ各登記事項ニ付キ一一本法ニ之ヲ規定セリ

(本法第一二〇條乃至第一二四條第一四八條、法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第七條登記ノ申請ハ必ス其者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要シ其他ノ者ヨリ爲スコトヲ得サルト同時ニ數人ノ連署ヲ以テ爲スヘキ場合ニ於テハ其數人ノ連署ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルナリ右ノ如ク數人ノ連署ヲ以テ爲スヘキ登記ノ申請ハ其數人ノ連署ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルヲ原則トス然レトモ若シ此原則ヲ絕對ニ貫カントスルトキハ疾病旅行其他正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ竟ニ其申請ヲ爲スコト能ハサルニ至リ甚タ不便ヲ生スヘキカ故ニ斯カル場合ニ於テハ其餘ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得シム然レトモコトハ實ニ止ムヲ得サルニ出ツル變則ナレハ務メテ其濫用ヲ防止セサルヘカラス依リテ斯カル場合ニハ其連署ヲ爲スルコト能ハサル事由ヲ證明スヘキモノトセリ

證明ノ方法ニ關シテハ法文上別段ノ制限ナキモ登記官吏ハ證人鑑定人ノ訊問、檢證書類ノ取寄等ヲ爲スノ權限ヲ有セサル結果其證明ノ方法ハ

自ら書證ノ提出ニ限ラルヘシ

(二)登記ノ申請ハ申請人又ハ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ(本法第一二五條第一五六條、法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第一四條)

是レ詐欺、錯誤ヲ防キ登記ノ正確ヲ保タシメンカ爲メナリ

總則第六條第一項及ヒ第七條ハ本件ノ代理人ニ對シテモ其適用アルコト勿論ナルモ第六條第二項ハ其性質上之ヲ登記申請ノ代理人ニ適用スルコトヲ得ス

(三)登記ノ申請ハ書面ヲ以テスルコトヲ要シ其書面ニハ(イ)申請人ノ氏名住所

(法人カ申請人ナルトキハ其名稱及ヒ主たる事務所又ハ支分ノ事務所) (ロ)代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名住所 (ハ)登記ノ目的及ヒ事由 (ニ)年月日 (ホ)登記所ノ表示 (ヘ)登録税額ヲ記載シ申請人又ハ代理人之ニ署名捺印スヘシ(本法第一二五條第一四九條第一五六條、法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條不動産登記法施行細則第三八條)

登記ノ申請ニ書面ヲ必要トシタルハ主トシテ登記ノ正確ヲ期スル爲メ
ナレトモ本法第二百二十五條及ヒ第五百五十一條ノ規定ノ結果亦書面ヲ以
ラセシムルノ必要アルニ由ル

申請書ノ作成ニ付キテハ尙ホ本法第二百二十五條、第五百十六條法人及ヒ
夫婦財産契約登記取扱手續第十條、商業登記取扱手續第二十五條及ヒ不
動産登記法施行細則第三十九條ノ規定アリ就イテ觀ルヘシ

(四) 登記ノ申請ニハ登記事項ヲ證明スヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス(本法第

一二〇條乃至第一二五條、第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續
第七條第二項)

是レ詐欺錯誤ヲ防キ登記ノ正確ヲ期センカ爲メナリ

第三目 申請ノ受附

登記ノ申請書カ登記所ニ差出サレ登記官吏之ヲ受取リタルトキハ即チ申請ノ
受附アルモノトス登記官吏カ申請ヲ受附ケタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的申

請人ノ氏名法人カ申請人ナルトキハ其名稱受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載
シ且ツ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スルコトヲ要ス(本法第一二
五條、第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手
續第一五條)

法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ關シテハ不動産登記法第四十七條第一項但
書ノ如キ規定ナシト雖モ登記官吏カ同時ニ二個以上ノ申請書ヲ受取リタル
トキハ不動産登記ニ於ケルカ如ク同一ノ受附番號ヲ附スヘキモノトス何ト
ナレハ是レ事理ノ當然ニシテ必スシモ法ノ明文ヲ俟タサル所ナレハナリ
受附番號ハ一年毎ニ更新スヘキモノトス本法第一二五條第一五六條法人
及ヒ夫婦財産登記取扱手續第一〇條不動産登記法施行細則第一二條)
受附帳ニ申請人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スル場合ニ於テ申請人カ多數ナルト
キハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名又ハ名稱及ヒ他ノ人員ヲ記載ス
ルヲ以テ足ル(本法第一二五條、第一五六條法人及ヒ夫婦財産登記取扱手續第
一〇條、不動産登記法施行細則第一三條)

登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキ受領證ヲ交附スルコトヲ要スルヤ否ヤ不動産登記ニ關シテハ不動産登記法第四十七條第二項ノ明文アルモ法人及び夫婦財産契約ノ登記ニ關シテハ本法第二百五條第百五十六條法人及び夫婦財産契約ノ登記ニ關シテハ商業登記取扱手續第十六條ニ於テ僅ニ申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及び受附番號ヲ記載スヘシト規定セルノミニテ受領證ハ必ズ之ヲ交附スヘキモノナルヤ否ヤヲ規定セザルカ故ニ疑義ニ涉ルヲ免レスト雖モ余ハ受領證ハ申請アラハ之ヲ交附スヘク然ラザレハ之ヲ交附スルコトヲ要セザルモノト解スルヲ妥當ト信スルハ可キト認ムカニ於テハ登記ノ申請ハ受附ノ後ナルモ未タ登記簿ニ記入ヲ始メザル前ナルニ於テハ之カ取下ヲ許スヘキモノトス

第四目 申請ノ處分

登記官吏カ申請書ヲ受附ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ調査シ本法第一二五條第一五六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條不動産登記法施行細則

第四七條之ヲ登記スルカ又ハ之ヲ却下スルカ何レカ一ノ處分ヲ爲サザルハカラス而シテ先キニ受附ケタル申請ハ後ニ受附ケタル申請ヲ處分スル以前ニ之ヲ處分セザルヘカラス是レ後ニ述フルカ如ク本法カ登記ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノトセルヨリ出ツル當然ノ結果ナリトス

登記官吏ノ調査ハ登記ノ申請カ民法又ハ本法第二編第八章ノ規定ニ適合セルヤ否ヤノ點ニ限定セラル(本法第一二五條第一五一條)而シテ登記官吏カ此調査ヲ爲スニ當リ其材料タルヘキモノハ單ニ申請書其附屬書類及ヒ登記簿ニ限リ其他ノ材料ニ依ルコトヲ得ス蓋シ登記官吏ハ證據調又ハ事實ノ探知ヲ爲スノ權限ヲ有セザレハナリ

登記官吏カ右ノ調査ヲ爲シタル結果申請ヲ適法ト認メタルトキハ登記ヲ實行スヘク之ニ反シテ申請ヲ不適法ト認メタルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘク其決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス本法第一二五條第一五一條

登記ノ申請ヲ却下スル決定ハ申請人ニ取リテハ利害ノ關係少小ナラサルカ故

ニ之ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ許ス但此決定ハ速ニ之ヲ確定セシムルノ必要アルニ因リ其抗告ハ之ヲ即時抗告ト爲シタリ(本法第一二五條第一一五一條第一項後段)

第五目 登記ノ實行

其一 登記ヲ爲ス順序

登記ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第一七條

其二 登記ヲ爲ス方法

登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第一八條第一項但外國法人ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セザルトキハ最モ之ニ類似セ

ル欄ニ記載シタル上其名稱ヲ附記スヘク又夫婦財産契約ニ關シ登記シタル事項ノ變更ノ登記ハ管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第四條第八條)

申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名住所ハ登記簿ニ記載スルコトヲ要セス(本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條不動産登記法施行細則第五一條)

登記用紙中或欄後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケアル欄ヲ除クニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交又スヘク又或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交又スヘク又變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ每ニ其左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第一八條第二項乃至第四項)

變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ本法第一二五

條第一五六條法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第一九條

登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘク又登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財產登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第二〇條第二九條

登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙ヲ選ミ之ヲ其繼續用紙トシ其用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且ツ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ但前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ爲スヘキ登記ニ付キテハ尙ホ前用紙ヲ使用スヘシ而シテ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケタルトキモ亦右ト同一ノ手續ヲ爲スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第二四條

登記ヲ爲スニハ字畫ヲ明瞭ニ記載シ金錢其他ノ物ノ數量年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フヘク又文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀ミ得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第二五條但此規定ハ訓示的規定ナレハ之ニ違背スルモ登記ノ無効ヲ惹起スルコトナシ

其三 登記ノ完了

登記力完了シタルトキハ申請人ハ手数料ヲ納付シテ登記済證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得本法第一二五條第二五六條法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續第一〇條商業登記取扱手續第二七條第一項明治三十六年司法省令第十四號
登記済證ノ製式ニ付キテハ本法第二百二十五條第二百五十六條法人及ヒ夫婦財產登記取扱手續第十條商業登記取扱手續第二十七條第二項ヲ觀ルヘシ

第五項 登記ノ更正

登記ノ更正トハ登記ニ錯誤又ハ遺漏アル場合ニ之ヲ更正スルコトヲ云フ而シテ茲ニ所謂錯誤又ハ遺漏トハ登記官吏ノ過失ニ因リ申請書ニ符合セザル記載ヲ爲シタル場合ナルト申請人ノ過失ニ因リ錯誤又ハ遺漏ヲ生シタル場合ナルトヲ問ハサルナリ

登記官吏カ登記ニ著手シタル後未タ之ヲ完了セザル前登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ハ本法第二百五條第百五十六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第十條及ヒ商業登記取扱手續第二十五條ニ從ヒ之ヲ更正スルコトヲ妨ケス然レトモ一旦登記ヲ完了シタル後之ヲ發見シタルトキハ自由ニ之ヲ更正スルコトヲ得ヌ必スヤ更正ノ申請ヲ候タサルヘカラス
登記ノ全部カ錯誤ナル場合ニ登記更正ノ方法ニ依リ之ヲ訂正スルコトヲ得ルカ不動産登記法ノ如キニ於テハ登記ノ全部カ錯誤ナル場合ハ登記更正ノ方法ニ依ルコトヲ得ヌト雖モ本法ニ於テハ登記ノ更正ハ一部錯誤ノ場合ニ限ル

トノ法意ヲ見ルニ足ルヘキ何等ノ規定存セザルカ故ニ假令全部錯誤ノ場合ト雖モ登記更正ノ方法ニ依リテ之ヲ訂正スルコトヲ得ルモノト論斷セザルヲ得ヌ

登記ノ更正ヲ申請スルコトヲ得ル者ハ其登記ノ當事者ニ限ル(本法第一二五條第一四八條)當事者トハ前ニ其登記ヲ申請シタル者ヲ云フ故ニ假令利害關係人ト雖モ苟モ當事者ニ非サル以上ハ之ヲ申請スルコトヲ得ヌ

登記ノ更正ハ更正ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲スヘキモノトス(本法第一二五條第一五六條)法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第八條—第一〇條商業登記取扱手續第二三條第一九條故ニ其申請ニ付キテハ總ヘテ登記ノ申請ニ關スル規定ヲ適用スヘク又登記官吏カ登記ノ更正ヲ爲スニ付キテモ總ヘテ登記ノ規定ニ依ルヘキモノトス

登記更正ノ登記ハ法人ノ登記ニ關シテハ變更欄ニ之ヲ爲シ夫婦財産契約ノ登記ニ關シテハ管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘク又法人ノ登記ニ關スルモノナルト夫婦財産契約ノ登記ニ關スルモノナルトヲ問ハス登記

非訟事件手続法 法人及び夫婦財産契約ノ登記

更正ノ登記ヲ爲シタルトキハ更正シタル事項ヲ抹スヘキモノトス本法第一二五條第一五六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第八條第一〇條商業登記取扱手續第二三條第一九條

第六項 登記ノ回復

登記ノ回復トハ登記簿ノ全部又ハ一部カ天災地變其他ノ事由ニ因リテ滅失シタル場合ニ於テ之カ爲メ滅失シタル登記ヲ回復スルコトヲ云フ不動産登記法ニ於ケル登記ノ回復ニハ抹消セラレタル登記ノ回復ヲ包含スレトモ本法ニ於ケル登記ノ回復ニハ此場合ヲ包含セス
登記ハ登記簿ヲ離レテ存在スルコト能ハス故ニ若シ登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ更正登記ヲ爲ササルヘカラス是レ登記回復ノ必要アル所以ナリ而シテ其回復ノ方法ニ至リテハ滅失ノ狀況ニ依リ又登記ノ種類ニ依リ自ラ異ナラサルヲ得サルカ故ニ法律ヲ以テ豫メ之ヲ一定スルコトハ甚タ困難ナリトス依リテ本法ハ豫メ其方法ヲ一定セス司法大臣ヲシテ機宜ニ應シテ必要

ナル處分ヲ命スルコトヲ得シメタリ但登記ノ回復ヲ許スニハ自ラ一定ノ期限ナカルヘカラス無期限ニ之ヲ許スコトハ到底爲シ能ハサル所ナリ故ニ司法大臣カ右處分ヲ命スルニ付キテハ豫メ一定ノ期間ヲ定ムヘキモノトセリ本法第一二五條第一五四條

第七項 登記ノ公告

民事法人ニ關シ登記シタル事項ハ登記所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スヘキコト民法施行法第二十四條ニ規定セル所ノ如シ而シテ本法ハ其第二百二十五條及ヒ第四百四十四條乃至第四百十六條ニ於テ該公告ノ方法及ヒ其效力發生ノ時期ヲ規定セリ余ハ本項ニ於テ此等ノ規定ノ説明ヲ試ミントス
本法第二百二十五條ニハ第四百四十一條乃至第五百五十一條中略ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用スレトアリテ文理ヨリ之ヲ解スレバ本法第四百四十四條乃至第四百十六條ノ規定ハ夫婦財産契約ノ登記ニモ亦之ヲ準用スヘキモノノ如クナレトモ夫婦財産契約ノ登記ニ付キテハ法人ノ登記ニ關スル前掲民法施行

法第二十四條ノ如キ其公告ヲ命シタル規定ナキカ故ニ登記所ハ之カ公告ヲ爲スヘキ限ニ在ラス從テ本法第四百四十四條乃至第四百四十六條ノ規定ハ之ヲ準用スヘキ限ニ在ラスト解セサルヲ得ス明治三十一年九月十五日付静岡地方裁判所長問合ニ對スル同月二十一日付民刑第一四九八號民刑局長回答參照

第一目 公告ノ方法

公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ一回以上之ヲ爲スコトヲ要ス而シテ登記所カ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ハ前年十二月中ニ區裁判所ニ於テ之ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘク若シ其選定シタル新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ(本法第一二五條第一四四條第一項第一四五條)
此選定ハ毎年一回之ヲ爲スヘキモノトス但休刊廢刊ノ場合ハ其都度之ヲ爲スヘシ

此選定ハ出張所ノ登記ヲ掲載セシムヘキ分ヲモ併セ一括シテ區裁判所奉廳

ニ於テ之ヲ爲シ且ツ之ヲ公告スヘキモノトス

新聞紙選定ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ハ必スシモ登記ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ナルコトヲ要セス否ナ可及的多數ノ新聞紙ニ之ヲ掲載セシムルヲ可トス

區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得(本法第一二五條第一四六條)

茲ニ所謂管轄内ノ市町村役場トハ管轄内ノ各市町村役場ノ義ナリ從テ管轄内ノ市町村役場中ノ一ヲ擇ヒ他ヲ捨ツルカ如キコトヲ爲スヘカラス

登記所及ヒ市町村役場ノ揭示場ニ於テスル公告ハ單ニ新聞紙上ノ公告ノミニ代ハルモノナレハ登記所及ヒ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲ス場合ト雖モ官報ニハ必ス公告ヲ爲ササルヘカラス

區裁判所カ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及ヒ市町村役場ノ揭示場ニ於テスル公告ヲ爲サントスルトキモ亦前年十二月中ニ之ヲ決定シ且ツ之ヲ公告セ

ナルヘカラサルヤ勿論トス

登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス本法第一二五條第一五六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第九條商業登記取扱手續第二六條

第二目 公告ノ效力發生ノ時期

公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及び新聞紙發行ノ日(又ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報發行並ニ登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ於テ之ヲ爲シタル最終ノ日)ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス(本法第一二五條第一四四條)

公告ノ效力發生ノ時期ヲ定ムルノ必要ハ營利ヲ目的トスル内國法人ニ關シテハ之レアルヘキモ民法第三五條第二項商法第一二條參照其他ノ法人ニ關シテハ之ヲ發見スルヲ得ス從テ本法第二百二十五條ニ於テ同第四百四條ヲ準用スルコトト定メタルハ其理由ヲ知ルニ苦メドモ苟モ法ニ明文アル以上ハ之ヲ無視スルコトヲ得サルヤ勿論ナリ

本法第四百四十四條第二項ハ其文字ヨリスレハ官報並ニ登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲シタル場合ヲ除外セルカ如キ嫌ナキニ非サレトモ登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ於テスル公告ハ新聞紙上ノ公告ニ代ハルモノナルコト前目ニ述ヘタル所ノ如キカ故ニ官報並ニ登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲シタル場合ニ於テハ最終ノ官報發行並ニ登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ於ケル最終ノ揭示ノ日ノ翌日ヲ以テ公告アリタルモノト看做ササルヘカラス

前陳ノ如ク登記所及び市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲ス場合ニ於テハ其揭示ノ繼續スル限リ公告ノ效力ハ發生セサルカ故ニ此場合ニ於テハ十分ニ注意シテ相當ノ時期ニ其揭示ヲ廢止スルコトヲ怠ルヘカラス(此廢止ハ通常公告ヲ記載シタル紙片ヲ揭示場ヨリ取除クニ依リテ之ヲ爲スヘキモノナレトモ)モコハ煩雜ニシテ注意深キ當局者ト雖モ往往遺忘シ易キ所ナレハ其紙片ニ豫メ此公告ハ何年何月何日マテ之ヲ爲スト云フカ如キ附記ヲ爲シ置クヲ便トスヘシ

第八項 餘論

法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ關シ餘論トシテ尙ホ一言ノ附加スヘキモノアリ
 リンハ他ニ非ス本法第二百五條ニ依レハ本法第一百七七條ノ規定ヲ法人及
 ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ準用スル旨規定シアレトモ本法第一百七七條ハ法人
 ノ清算人ノ解任又ハ變更ノ登記ノ申請ニ付キ其申請ヲ爲スヘキ者及ヒ申請書
 ニ添附スヘキ證據書類ヲ定メタルモノニシテ夫婦財産契約ノ登記ニハ何等ノ
 關係ナキモノナルノミナラス法人ノ清算人ノ解任又ハ變更ノ登記ニ付キ其申
 請ヲ爲スヘキ者及ヒ申請書ニ添附スヘキ證據書類ノ事ハ既ニ本法第三十七條
 ニ規定セル所ナレハ重ネテ之ヲ規定スルノ必要ヲ發見スルコト能ハス要スル
 ニ右ハ全ク無用ノ蛇足ニ過キサルモノト解スルノ外ナキト是レナリ

第二款 各論

第一項 法人ノ登記

第一目 公益ヲ目的トスル内國法人ノ登記

公益ヲ目的トスル内國法人ノ登記ハ本法第二百十條乃至第二百二十二條ニ之ヲ
 規定セリ余ハ今之ヲ説明セントス
 營利ヲ目的トスル内國法人ノ登記ハ本節ノ冒頭ニ述ヘタルカ如ク次章ノ説
 明ニ譲ル
 公益ヲ目的トスル内國法人ノ登記ニ三種アリ(一)設立ノ登記(二)變更ノ登記(三)解
 散ノ登記是レナリ

其一 設立ノ登記

法人設立ノ登記トハ民法第四十五條第一項第三項第四十八條第一項後段又ハ
 民法施行法第二十條第一項及ヒ民法第四十六條第一項ニ依リテ爲スヘキ登記
 ヲ云フナリ

民法第四十五條第三項及ヒ第四十六條第一項此規定ハ法人設立ノ後新ニ事

務所ヲ設ケタル場合ニ於テ爲スヘキ登記中唯其新事務所ノ所在地ニ於テ爲
 スヘキ登記ノミニ關シ在來ノ事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記ニ關係ナ
 キコトハ民法第四十五條及ヒ第四十六條ノ規定ヨリ容易ニ推知シ得ヘシニ
 規定セル登記並ニ同法第四十八條第一項後段及ヒ第四十六條第一項ニ規定
 セル登記ハ登記事項ニ變更アリタル場合ニ爲スヘキ登記ナルノミナラス本
 法第二百一十一條ニ事務所ノ新設及ヒ事務所ノ移轉ノ語アルヲ以テ此等ノ登
 記ハ變更登記トシテ同條ノ規定ニ依ルヘキモノト解スヘキカノ如キ觀ナキ
 ニ非ス然レトモ設立ノ登記變更ノ登記等ノ區別ハ主トシテ登記ノ形式ニ基
 ツキテ設ケタルモノ從テ特定ノ登記カ其何レニ屬スルカヲ決スルニ當リテ
 ハ主トシテ其形式ニ依ラサルヘカラサル理ナルニ此等ノ登記ハ何レモ其形
 式ニ於テ設立ノ際ニ爲スヘキ登記ト全然同一ナルカ故ニ之ヲ設立ノ登記ト
 解スルハ極メテ相當ナルノミナラス其申請ノ手續ニ至リテモ若シ本法第百
 二十一條ノ規定ニ依ルヘキモノトセンカ定款ノ添附ヲ要セザルコトナリ
 登記事項ハ總ヘテ申請人ニ於テ之ヲ證明セシムヘキモノトセル本法ノ主義

第一款第四項第二目ノ(四)參照ニ背馳スルニ至ルヘキカ故ニ余ハ此等ノ登記
 ハ本法ニ所謂設立登記トシテ本法第二百十條ノ手續ニ依ラシムヘキモノト
 解セント欲ス

法人設立ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ヨリ申請スヘキモノトス(本法第一二〇條第
 一項)

是レ此種ノ登記ハ法人ニ對シ重要ナルモノナレハ其手續モ亦之ヲ鄭重
 ナラシムルヲ相當トスルカ爲メナリ

(二) 申請書ニハ(イ)定款(ロ)主務官廳ノ許可書又ハ其認證アル謄本(ハ)理事ノ資格
 ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス(本法第一二〇條第二項)

是レ登記ノ正確ヲ期スルカ爲メニシテ右(イ)及ヒ(ロ)ハ登記事項ヲ證明セ

シメ(ハ)ハ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證明セシムル爲メ必要アルナリ

茲ニ所謂證スル書面トハ證スルニ足ル書面ノ義ナリ以下ニ説明スヘキ
 各種ノ登記ニ關シテモ同様ノ文詞アルカ何レモ茲ニ所謂證スル書面ト

同一ノ意義ヲ有スルモノナリ故ニ一一之ヲ説明セサルヘシ

(三) 民法施行法第二十條第一項ノ規定ニ依ル登記ヲ爲ストキハ登記用紙中第四欄ニ主務官廳ノ認可アリタルコト及び其年月日ヲ記載スヘシ(本法第一二五條第一五六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第六條)

是レ民法施行法第十九條第一項ノ法人ニ對シ同條第二項ニ依リ主務官廳ノ與ヘタル認可ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル法人ニ對シ主務官廳ノ與ヘタル設立許可ニ準スヘキモノナルニ因ル

其二 變更ノ登記

茲ニ變更ノ登記ト云ヘルハ本法第二百一十一條第一項ニ所謂事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ヲ總稱シタルモノニシテ即チ民法第四十六條第二項第四十八條第一項前段又ハ同條第二項ニ依リテ爲スヘキ登記ヲ云フナリ

民法第四十五條第三項及ヒ第四十六條第一項ニ規定セル登記並ニ同法第四

十八條第一項後段及ヒ第四十六條第一項ニ規定セル登記カ變更ノ登記ニ非ナルコトハ本目其一一ニ説明シタル所ノ如シ從テ茲ニ所謂事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉ノ登記トハ事務所ノ新設又ハ移轉ノ場合ニ爲スヘキ總ヘテノ登記ヲ云フモノニ非スシテ單ニ其法人ニ付キ既ニ設立ノ登記ヲ爲シアル登記所ニ於テ爲スヘキ事務所ノ新設又ハ移轉ノ登記ノミヲ云フモノナルコトヲ知ルヘシ

本法第二百一十一條第二項ニハ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ト言ヒテ事務所ノ新設ヲ以テ登記事項ノ變更以外ニ置キアレトモ茲ニ所謂事務所ノ新設ノ登記ハ廣義ニ於ケル變更ノ登記ノ一種ニ外ナラザルコトハ民法第四十六條第二項ノ規定ニ依リ自ラ明ナルヘシ

事務所廢止ノ登記カ變更ノ登記ナルコトモ民法第四十六條第二項ノ規定ニ依リ自ラ明ナルヘシ

變更ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 變更ノ登記ハ理事理事ノ缺ケタル場合ニ於テハ假理事ヨリ申請スヘキモ

非訟事件手續法 法人及び夫婦財産契約ノ登記

ノトス(本法第一二一條第一項)

變更ノ登記ハ比較的重要ナラサルモノナルニ因リ其手續ヲ輕便ニシ
事又ハ假理事ノ一人ニテモ之ヲ申請シ得ヘキモノトセルナリ

(二)申請書ニハ(イ)事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面(ロ)主務官廳
ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其許可書又ハ其認證アル謄本(ハ)理事又ハ假
理事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但前ニ其登記所ニ於テ登
記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ申請ヲ爲ス場合ニハ(ハ)ノ書面ヲ添
附スルコトヲ要セス(本法第一二一條第二項第三項)

是レ登記ノ正確ヲ期スルカ爲メニシテ右(イ)及ヒ(ロ)ハ登記事項ヲ證明セ
シメ(ハ)ハ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證明セシムル爲メ必要アルナリ

(三)法人カ事務所ヲ廢止シ又ハ之ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ
廢止又ハ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但其登記
所ノ管轄内ニ他ノ事務所アルトキハ此限ニ在ラス

法人カ事務所ヲ廢止シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲シタルトキ登記用紙

ヲ閉鎖スヘキコトハ外國法人ニ關シテハ本法第二百五條第五百五十六
條及ヒ法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第五條ニ規定シアリ又法人
カ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シ
タルトキ登記用紙ヲ閉鎖スヘキコトハ營利ヲ目的トスル内國法人ニ關
シテハ本法第二百五條第五百五十六條法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱
手續第十一條及ヒ商業登記取扱手續第四十四條ニ規定シアルニ拘ハラ
ス公益ヲ目的トスル内國法人ニ關シテハ此等ノ規定ヲ缺ケリ然レトモ
登記用紙閉鎖ノ事ノ如キ別ニ公益ヲ目的トスル内國法人ト其他ノ法人
トノ間ニ區別ヲ設クヘキ理由ナキノミナラス此場合ニ若シ登記用紙ヲ
閉鎖セサルニ於テハ錯誤ヲ生シ易キ故ニ假令明文ナキモ右等ノ規定
ヲ準用シテ閉鎖ノ手續ヲ爲スヘキモノト解スルヲ妥當ト信ス

其三 解散ノ登記

法人ノ解散ノ登記トハ民法第七十七條第一項ニ依リテ爲スヘキ解散ノ原因及

七年月日ノ登記ヲ云フナリ

法人ノ解散ノ登記ニ特殊ナル規定左ノ如シ

(一) 法人ノ解散ノ登記ハ清算人ヨリ申請スヘキモノトス本法第一二二條第一項

法人ノ解散ノ登記ノ清算人ヨリ爲スヘキモノナルコトハ既ニ民法第七十七條第一項ニ規定セル所ナリ然ルニ本法ニ於テ右ノ規定ヲ設ケタルハ一見蛇足ニ似タルカ如キモ決シテ然ラス何トサレハ右ノ規定ハ清算人ノ一人ニテモ申請ヲ爲シ得ヘシトノ意義ヲ有スルモノナレハナリ
(二) 申請書ニハ(イ)解散ノ事由ヲ證スル書面(ロ)理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス本法第一二二條第二項

是レ登記ノ正確ヲ期スルカ爲メニシテ(イ)ハ登記事項ヲ證明セシメ(ロ)ハ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證明セシムル爲メ其必要アルナリ

第二目 外國法人ノ登記

外國法人ノ登記ニ關シテハ其法人カ公益ヲ目的トスルモノナルト營利ヲ目的トスルモノナルトニ論ナク總ヘテ民法第四十九條第一項ニ規定セル登記ヲ爲スヲ以テ足ルコトハ本節ノ冒頭ニ述ヘタル所ノ如クナルカ故ニ外國法人ノ登記ニ關シテハ敢テ内國法人ノ登記ニ於ケルカ如ク公益ヲ目的トスル法人ト營利ヲ目的トスル法人トニ依リ其登記ノ手續ヲ異ニスヘキ理由ナシ依リテ本法ハ此兩種ノ法人ノ登記ニ關スル手續ヲ一括シテ之ヲ第二百二十四條及ヒ第二百五十條乃至第二百五十四條ニ規定セリ今左ニ之ヲ説明スヘシ
外國法人ノ登記ニ二種アリ(一)事務所設置ノ登記(二)變更ノ登記是レナリ左ニ之ヲ分説スヘシ

本法第二百二十四條ニ依レハ外國法人ノ登記ニハ本法第二百三條ノ規定ヲモ準用スヘキ旨規定シアレトモ民法第三十五條第二項ノ規定ハ外國法人ニ適用ナキコト本節ノ冒頭ニ述ヘタル所ノ如ク從テ商法第二百五十五條第二項

非訟事件手続法 法人及び夫婦財産契約の登記

ノ規定ハ外國法人ニ適用ナキカ故ニ營利ヲ目的トスル外國ノ民事法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ト雖モ單ニ民法第四十九條第一項及ヒ第四十六條第一項ニ規定セル登記ヲ爲スヲ以テ足り敢テ商會社ニ於ケルカ如ク日本ニ於ケル代表者ヲ定メ其登記ヲ爲スコトヲ要スルモノニ非ス從テ本法第二百三條ニ所謂日本ニ於テ登記シタル外國會社ノ支店ノ代表者ノ變更チルモノニ準スヘキ事實アリ得ヘカラサルモノト論斷セサルヲ得ス然ラハ本法第二百二十四條ニ於テ本法第二百三條ヲ準用スヘキ旨ヲ規定シタルハ無用ノ蛇足ニ過キササルモノト謂フヘク結局外國法人ノ登記ニハ前掲二種ノ外ナキコトトナルナリ

其一、事務所設置ノ登記

茲ニ事務所設置ノ登記ト云ヘルハ本法第二百二十四條及ヒ第二百二條ニ所謂外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ニ於テ爲スヘキ登記ヲ指稱セルモノニシテ即チ外國法人カ民法第四十九條第一項、第四十五條第三項及ヒ第四十六條

第一項ニ依リ又ハ同法第四十九條第一項、第四十二條第一項後段及ヒ第四十六條第一項ニ依リテ爲スヘキ登記ヲ總稱セルナリ
右ニ所謂民法第四十九條第一項、第四十五條第三項及ヒ第四十六條第一項ニ依リテ爲スヘキ登記ノ中ニハ外國法人カ始メテ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ニ爲スヘキ登記ノ外尙ホ外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル後更ニ日本ニ事務所ヲ増設シタル場合(但同一登記所ノ管轄内ニ増設シタル場合ヲ除ク)ニ於テ其新事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記ヲモ包含スルモノトス何トナレハ民法第四十九條第一項ニ所謂外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ナル文詞中ニハ外國法人カ始メテ日本ニ事務所ヲ設ケタル場合ノ外尙ホ外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル後更ニ日本ニ事務所ヲ増設スル場合(但同一登記所ノ管轄内ニ増設スル場合ヲ除ク)ヲモ包含スレバナリ
外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル後更ニ日本ニ事務所ヲ増設シタル場合(但同一登記所ノ管轄内ニ増設シタル場合ヲ除ク)ニ其新事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記カ變更ノ登記ニ非サルコトハ(一)公益ヲ目的トスル内國法人

カ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタル場合ニ其新事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記カ變更ノ登記ニ非サル所以ノ説明トシテ余カ前目其一ニ於テ擧ケタル理由(二)本法第二百二條ニハ單ニ外國會社カ日本ニ支店ヲ設ケタル場合トアリテ始メテ日本ニ支店ヲ設ケタル場合ト日本ニ支店ヲ設ケタル後更ニ支店ヲ増設シタル場合トヲ區別スル注意ノ見ルヘキモノナキコト等ニ依リ明カナルヘク又外國法人カ事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ民法第四十九條第一項第四十八條第一項後段及ヒ第四十六條第一項ニ依リ其新事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記カ變更登記ニ非サルコトハ右一ノ理由ニ因リテ明カナルヘシ

此種ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 此種ノ登記ハ法人ノ代表者ヨリ申請スヘキモノトス(本法第二二四條第二〇二條第一項) 茲ニ所謂法人ノ代表者トハ本國ニ於ケル代表者ノ義ニシテ日本ニ於ケル代表者ノ義ニ非サルコトハ余カ本目ノ總説トシテ述ヘタル所及ヒ法

文ニ法人ノ代表者ナル文詞ノ外尙ホ支店ノ代表者ナル文詞アルニ依リテ明カナリトス 法人ノ代表者カ數人アル場合ニ於テ其全員ノ共同ヲ要スルヤ否ヤハ本國法ニ於ケル代表權ニ關スル規定ヲ標準トシテ之ヲ決定セザルヘカラヌ即チ若シ本國ニ於テ共同ニ非サレハ法人ヲ代表スルコト能ハストセルトキハ共同ヲ必要トシ然ラザルトキハ單獨ニテモ申請ヲ爲スコトヲ得ヘシ

(二) 申請書ニハ(イ)本店ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面(ロ)法人ノ定款又ハ法人ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面(ハ)代表者タル資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要シ而カモ此等ノ書面ハ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ認證ヲ受ケタルモノナルコトヲ要ス(本法第一二四條第二〇二條)

是レ登記ノ正確ヲ期スル爲メニシテ右(イ)及ヒ(ロ)ハ登記事項ヲ證明セシメ(ハ)ハ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證明セシムルカ爲メ必要アルナリ 右(ロ)ニハ法人ノ定款又ハ法人ノ性質ヲ識別スルニ足ル書面トアリ此又

以下ノ文詞ハ定款ナル名稱ヲ有スル書面ヲ有セサル外國法人アルコトヲ慮リテ之ヲ附加シタルモノナレハ定款アル法人ニ付キテハ必ス定款ヲ添附セサルヘカラス

(三) 申請書ニハ日本ニ於ケル代表者ノ記載ヲ要セス

本法第二百二條ニハ申請書ニ支店ノ代表者ヲ記載スヘキ旨ノ文詞アレトモ民事法人ニ關シテハ營利ヲ目的トスルモノナルト否トヲ問ハズ日本ニ於ケル代表者ノ登記ヲ爲スヘキモノニ非サルコト余カ本目ノ總説トシテ述ヘタル所ノ如キカ故ニ此部分ハ民事法人ノ登記ニハ適用ナキモノト解釋セサルヘカラス蓋シ準用ノ準用タル所以ナリ

第二 變更ノ登記

茲ニ變更ノ登記ト云ヘルハ本法第二百二十四條及ヒ第二百四條ニ所謂外國法人ノ事務所ノ廢止又ハ其登記事項ノ變更ノ登記ヲ指稱セルモノニシテ即チ民法第四十九條第一項及ヒ同法第四十六條第二項第四十八條第一項前段又ハ同條

第二項ニ依リテ爲スヘキ登記ヲ總稱セルモノナリ

民法第四十九條第一項第四十五條第三項及ヒ第四十六條第一項ニ依リテ爲スヘキ登記中外國法人カ日本ニ事務所ヲ設ケタル後更ニ日本ニ事務所ヲ増設シタル場合但同一登記所ノ管轄内ニ増設シタル場合ヲ除クニ於テ其新事務所ノ所在地ニ於テ爲スヘキ登記並ニ民法第四十九條第一項第四十八條第一項後段及ヒ第四十六條第一項ニ依リテ爲スヘキ登記ノ變更ノ登記ニ非タルコトハ本目其一ニ述ベタル所ノ如シ
本法第二百二十四條及ヒ第二百四條第一項ニ於テハ事務所ノ廢止ノ登記ヲ以テ登記事項ノ變更ノ登記以外ニ置キアレトモ事務所ノ廢止ノ登記ハ廣義ニケ於ケル變更ノ登記中ニ包含セラルルモノナルコトハ民法第四十九條第一項及ヒ第四十六條第二項ノ規定ニ依リ自ラ明カナルヘシ

變更ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ
(一) 變更ノ登記ハ法人ノ代表者ヨリ申請スヘキモノトス本法第一二四條第二

○ 四條第一項

非訟事件手続法 法人及び夫婦財産契約ノ登記

茲ニ所謂法人ノ代表者トハ本國ニ於ケル代表者ノ意ニ用ヒタルモノナ
 リ但本法第二五四條ニハ「支店ノ代表者トアルモ民法法人ニ付キテハ商
 事會社ニ於ケルカ如ク日本ニ於ケル代表者ヲ定ムルコトヲ要スルモノ
 ニ非サルコト本目ノ總說トシテ述ヘタル所ノ如キカ故ニ假令第二百四
 條ニハ支店ノ代表者トアルモ尙ホ本國ニ於ケル代表者ヨリ申請スヘキ
 モノト解セサルヲ得ス蓋シ準用ノ準用タル所以ナリ

(二) 外國ニ於テ生シタル登記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於テ
 ハ法人ノ本國ノ管轄官廳又ハ日本ニ在ル領事ノ證認アル書面ニ依リテ其
 變更ヲ證明スルコトヲ要ス(本法第一二四條第二〇四條第二項) 茲ニ
 是レ登記ノ正確ヲ期スルヲ目的ニ出テタルニ外ナラス 茲ニ
 日本ニ於テ生シタル登記事項ノ變更ニ付キ其登記ヲ申請スル場合ニ於
 テ其變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ規定ナキハ何故ナルカ余ハ其理由
 ヲ解スルニ苦シム然レトモコトハ解釋上如何ントモスルコト能ハサルナ
 リ

本法第二百四條ニハ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スヘキコ
 トヲ規定セシ是レ畢竟同條ニ於テハ登記ハ日本ニ於ケル代表者ヨリ申
 請スヘキモノトシテアリ而シテ日本ニ於ケル代表者ハ商法第二百五十五
 條第二項及ヒ本法第二百二條第二百三條ニ依リ登記簿止明カナルカ爲
 メナリ然ルニ民法法人ニ付キテハ(一)ニ於テ述ヘタル如ク本國ニ於ケル
 代表者ヨリ申請スヘキモノニシテ商事會社ノ場合トハ趣ヲ異ニスルモ
 ノナルカ故ニ假令本法第二百四條ニ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證スル書面
 ヲ添附スヘキ旨ノ明文ナキモ之ヲ以テ直チニ其添附ヲ要セサル法意ナ
 リト論斷スルコトヲ得ス却テ本法第二百二條第一項第二號其他一般ノ
 規定ヨリ推窮スレハ此場合ニ於テモ尙ホ且ツ申請ヲ爲ス者ノ資格ヲ證
 スル書面ヲ添附ヲ要スル法意ナリト解釋スルヲ妥當トス

(三) 事務所廢止ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スヘシ(本法第一二五條第
 一五六條法人及ヒ夫婦財產契約登記取扱手續第五條) 茲ニ
 事務所廢止ノ登記ハ廣義ニ於ケル變更ノ登記ニ外ナラサルコトハ前ニ

述ヘタル所ノ如キカ故ニ其登記ハ之ヲ變更ニ於テ爲スヘキコトハ殆
ント言フヲ俟タサル所ナレトモ本法第二百二十四條及ヒ第二百四條ニ於
テ事務所ノ廢止ヲ登記事項ノ變更以外ニ置ケル結果疑義ヲ生スルノ餘
地ナキニ非サルヲ以テ之ヲ明確ニセルナリ

(四) 法人カ事務所ヲ廢止シ又ハ之ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ
廢止又ハ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但其登記
所ノ管轄内ニ他ノ事務所アルトキハ此限ニ在ラス(本法第一二五條第一五
六條) 法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第五條

此等ノ場合ニ登記用紙ヲ閉鎖セサルトキハ錯誤ヲ生シ易キカ故ニ之ヲ
閉鎖スルヲ當然トス但法人及ヒ夫婦財産契約登記取扱手續第五條ニハ
事務所廢止ノ登記ノ場合ノミヲ規定シ移轉ノ登記ノ場合ヲ規定セザレ
トモ此兩者ノ間ニ區別ヲ設クヘキ理由ナキカ故ニ移轉ノ登記ノ場合ニ
於テモ亦閉鎖ノ手續ヲ爲スヘキモノト解スルヲ妥當トス

第二項 夫婦財産契約ノ登記

夫婦財産契約ノ登記トハ民法第七百九十四條第七百九十五條第七百九十七條
民法施行法第六十九條第二項其他法律ノ暗黙ノ規定ニ依リ夫婦財産契約ニ關
シテ爲スヘキ一切ノ登記ヲ總稱スルモノナルコトハ余カ本節ノ冒頭ニ述ヘタ
ル所ノ如シ茲ニ所謂法律ノ暗黙ノ規定ニ依リ爲スヘキ登記トハ(一) 管理者ノ變
更及ヒ共有財産ノ分割以外ノ變更ノ登記及ヒ(二) 夫婦財産契約終了ノ登記是レ
ナリ蓋シ前掲民法及ヒ民法施行法ノ規定ノミヨリ言ハハ右二種ノ登記ハ之ヲ
認メサルカ如キ觀ナキニ非スト雖モ本法第二百二十五條第二百五十六條法人及ヒ
夫婦財産契約登記取扱手續第一條第七條第八條等ノ規定ヨリ推考スレハ法律
ハ右二種ノ登記ヲモ認メタルコト疑ナシ

以上ノ次第ナルニ因リ夫婦財産契約ノ登記(廣義ニハ(一) 夫婦財産契約ノ登記狹
義(二) 管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割其他變更ノ登記(三) 夫婦財産契約ノ終了
ノ登記ノ三種アルコトヲ知ルニ足ルヘシ以下之ヲ分説スヘシ

第一目 夫婦財産契約ノ登記(狹義)

夫婦財産契約ノ登記狹義トハ民法第七百九十四條第七百九十五條及民法施行法第六十九條第二項ニ依リ爲スヘキ登記ヲ云フ

此種ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 此種ノ登記ハ契約者雙方ヨリ申請スヘキモノトス(本法第一二三條第一項)

是レ事理ノ當然ニシテ敢テ説明ヲ要セザル所トス

(二) 申請書ニハ夫婦財産契約書ヲ添附スルコトヲ要ス(本法第一二三條第二項)

是レ登記ノ正確ヲ期スルノ目的ニ出ラタルモノナリ

第二目 管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割其他變更ノ登記

管理者ノ變更及ヒ共有財産ノ分割ノ登記トハ民法第七百九十七條ニ依リ爲スヘキ登記ヲ云ヒ其他變更ノ登記トハ法律ノ暗黙ノ規定ニ依リ爲スヘキ右以外

ノ登記事項ノ變更ノ登記ヲ云フ例ヘハ契約者ノ表示ノ變更ノ登記ノ如シ(二二三條)
此種ノ登記ニ特殊ナル手續左ノ如シ

(一) 此種ノ登記ハ契約者雙方ヨリ申請スヘキモノトス(本法第一二三條第一項)

是レ亦事理ノ當然ニシテ説明ヲ要セザル所トス

(二) 申請書ニハ管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ヲ許可シタル判決ノ謄本

又ハ之ニ關スル契約書其他登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコト

ヲ要ス(本法第一二三條第二項)

是レ亦登記ノ正確ヲ期スルノ目的ニ出ラタルモノナリ

〔判決ノ謄本トハ裁判所書記ノ作成シタル謄本ノ義ナリ又法文ニ判決ノ

謄本又ハ契約書トアルハ管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ノ判決ニ

因ル場合ニハ判決謄本ヲツカ契約ニ因ル場合ニハ契約書ヲ添附スヘシ

トノ意ナリ

管理者カ變更及ヒ共有財産ノ分割以外ノ變更ノ登記ニ關シテハ申請書

ニ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ旨ノ明文ナキモ本法第百二十三條第

二項其他一般ノ規定ヨリ推究スレバ其添附ヲ必要トスル法意ナルコトヲ知ルニ於テ餘師アリ

第三目 夫婦財産契約ノ終了ノ登記

夫婦財産契約ノ終了ノ登記トハ夫婦財産契約カ當事者ノ離婚死亡其他ノ事由ニ因リ消滅シタル場合ニ爲スヘキ登記ヲ云フ

- (一) 此種ノ登記ハ契約者雙方ヨリ之ヲ申請スヘキモノトス但夫婦財産契約カ夫婦ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ他ノ一方ノミニテ之ヲ申請スヘキモノトス(本法第一二三條第一項第一二五條第一五六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第七條第二項)
- (二) 申請書ニハ其事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス(本法第一二五條第一五六條法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第七條第二項)

是レ登記ノ正確ヲ期スルノ目的ニ出テタルモノナリ

夫婦財産契約カ當事者ノ一方ノ死亡以外ノ事由ニ因リ消滅シタル場合ニ關シテハ此種ノ書面ヲ添附スヘキ旨ノ明文ナキモ法人及び夫婦財産契約登記取扱手續第七條第二項其他本法一般ノ規定ヨリ推究スレバ此場合ニモ亦之ヲ添附スルヲ必要トスル法意ナルコトヲ知ルニ於テ餘師アリ

- (三) 此種ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ
此事ニ付キテハ本法其他ノ法令ニ明文ナキモ前ニ述ヘタル本法一般ノ主義ヨリ視テ斯ク断定スルヲ相當トス

非訟事件手續法 終

正誤
非訟事件手續法

四八頁

七四頁

八七頁

九六頁

一〇七頁

一九七頁

二〇八頁

二〇九頁

二三二頁

二四二頁

二四四頁

二四五頁

二五五頁

二五七頁

二六六頁

第一〇章

第一〇節

第一〇節

第一〇節

第一〇節

第一〇節

正
第二章
第三節
第四節
第四章

其氏名、住所ヲ登記スルコト

行

一三 爲ス登記

一四 全部行

一一 千與ノ下ヲ許ノ二字ヲ脱ス

一五 トキヲ

一六 トキヲ

一及二 但書ハ衍

一四 不確定ナル債權ノ下ノ辨濟ノ三字ヲ脱ス

一七 相續人ノ相續人カ

一三 者ナリ

一七 關スルノ下特殊ノ二字ヲ脱ス

一七 冒頭ノト

一五 余ハ衍

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

管ハ

非儒書年應送

第一回 夫...

主...

(三) 此...

此...